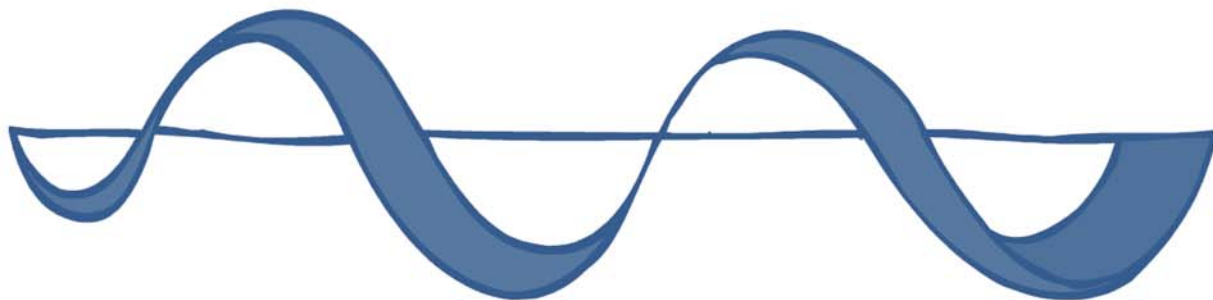


伝えるためのライティング

東郷多津・田中美和子 著



Ver. 2014

はしがき

近年のグローバル化を受け、「英語が使える日本人」の育成が求められています。みなさんが生きる世界では、ますます英語の能力が重要視されていきます。しかしながら、英語力が求められる根底で求められているのは、「人に何かを伝える」ことです。社会生活を営む限り、積極的であろうと、消極的であろうと、どこかで誰かとつながっています。まず、誰かに何かを伝えたいと思うところが大切です。と同時に、どうすれば自分の伝えたい内容が伝えたい相手に伝わるかを考えて、工夫する必要があります。「人に何かを伝える」技術をたくさん学び取ることで、より広く多様なつながりが生まれます。「誰もわかってくれない」のは、人に伝える技術が不足しているか、あるいは技術をうまく使えていないだけかもしれません。英語もその技術のひとつです。英語を使う場合、日本語とは異なった伝える技術が必要となるのです。

本書の目的は、基礎的な英語力を使いながら、さまざまなプロジェクトを通して、「自分が伝えたいことをみつけ、英語で発信する」お手伝いをすることです。さらに、プロジェクトの中で協働しながら、自分の役割や、人とコミュニケーションをとる方法を学んでいけるよう工夫されています。最後に、テキストの活動や作業から「感じたこと」、「思ったこと」を英語で表現できるよう技術的な助けを提供しています。テキストの課題を通じて、より正しい英語表現を使えるようになることで、多くの人に自分の考えを伝えられるようになります。「伝わった！」喜びを感じるお手伝いの一端を、本書が担えることを願ってやみません。

最後に、共著者でもある協同研究者の田中美和子先生には、特に文法教材開発や文書のレイアウトに力を発揮してくださいました。また、本書作成における基本コンセプトに関して、京都教育大学名誉教授西之園晴夫先生に多くの助言をいただきました。さらに、(特非)学習開発研究所所員望月紫帆さん、高橋朋子さんとの共同研究からも多くの示唆をいただきました。ここに記して感謝申し上げます。

2014 年春

東郷多津





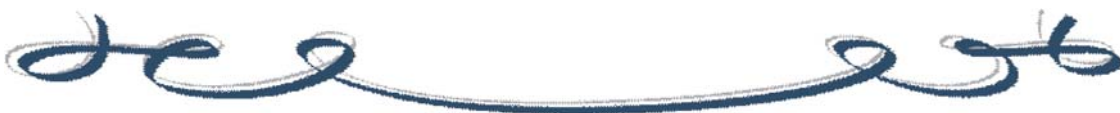
Table of Contents



Lesson 0	はじめに	1
Lesson 1	オリエンテーション	9
Lesson 2 PBL1	自分を表現する①	11
Lesson 3	自分を表現する②	15
Lesson 4 PBL2	4コマ・ストーリーを書く①	17
Lesson 5	4コマ・ストーリーを書く②	20
Lesson 6 PBL3	翻訳絵本①	22
Lesson 7	翻訳絵本②	24
Lesson 8	翻訳絵本③	26
Lesson 9 PBL4	ポスター発表①	28
Lesson 10	ポスター発表②	38
Lesson 11	ポスター発表③	42
Lesson 12	英作文	46
Lesson 13 PBL5	まとめの英作文①	48
Lesson 14	まとめの英作文②	52
Lesson 15	前期振り返り	54



文法のページ	57
パラグラフの構成	79



Lesson 0

はじめにー学習のイメージ

月 日



指揮者のいないオーケストラ

指揮者がいない



メンバー全員が指揮者(リーダー)

- ・一人が全員を考えて行動する
- ・平等なチームワーク
- ・自分の役割を果たす
- ・結果には自己責任を負う

NO CONDUCTOR


<http://talent.yahoo.co.jp/pf/detail/pp19615>

この授業における学習のイメージは、オーケストラです。しかも、普通、オーケストラには「指揮者」がいるのですが、この授業のイメージとなるオーケストラは、ニューヨークのカーネギーホールを本拠地とする、有名な「オルフェウス・オーケストラ(Orpheus Chamber orchestra)」のように、「指揮者」がいないオーケストラ、それがこの授業で学習者するみなさんのイメージです。

みんな違ってみんないい。 集合しても、それも良い。

オーケストラでは、色々な楽器が演奏されます。皆さんも、自分の個性を尊重しつつ、自分に合った楽器(内容)を弾く技(表現力や英語力)を身につけ、一人で自由に、あるいはだれかと組んで助け合って練習(学習)しながら、1つの作品(英作文)を作り上げてください。目標は素晴らしい作品(英作文)で観客を魅了することです。美しい作品に仕上げれば、観客(読み手)も、そして演奏者(学習者)も楽しくなります。

◆では、この授業の学習目標を知りましょう。

この授業の通年の学習目標は、「クラスメイトと協力しながら、言いたいことを、英語で楽しく相手に伝えられるように、自分から進んで学習できるようになる」ことです。この目標には2本柱があり、1つめは、主体的に学習する力の習得で、クラスメイトと助け合いながら、自力で学習する方法を見つけることです。そして、2つめは、英語の知識の習得で、自分の言いたいことが読む人にも伝わるように英語で文章を書けるようになることです。

学習目標を達成するために、この授業ではクラス全体を、1つの楽団(学団)と考えます。何かわからないことがあれば、クラスの誰にでも、尋ねられる環境づくりを目指します。もし自分が質問されたら、理解していることを共有しましょう。それぞれが持つのは断片的な情報であっても、合わせれば1つの形になります。わからないことがあったら、ただ「待つ」のではなく、「自分から行動」してみましよう。

この1年間の学習は、「指揮者のいないオーケストラ」をイメージして進みます。みんなが自分の行動に責任を持って、満足のいく演奏をするために必要な力を身につけ、最終成績には目標として

設定した評価をそれぞれ達成できるように行動してください。

前期の学習目標は、「正しい英文を意識して、1つのテーマについてできるだけ多く長い英文を書けるように、クラスメイトと協力しながら、自分で楽しみながら学習できるようになる」ことです。オーケストラとして音合わせする(協力する)前に、各自がレパートリーを増やし(いろいろな話題について多く、長い英文を書けるように)しましょう。その実現のために、さまざまな曲(プロジェクト)を体験しながら、演奏するための(英文を書くための)技術(英文法や英語の文章を書くときの型)の習得を目指します。練習(学習)は時に苦しいこともあります。演奏者(学習者)で助け合ったり、励ましあったりしながら乗り切れば、作品を披露するときに、観客(読み手)の感動を呼び、それがきっと大きな喜びと自信となって、演奏者(学習者)に返ってくることでしょう。

◆学習の前に、以下のことを確認しておきましょう。

「盗用」と「遅刻」

▼「盗用」について

英作文の際に、不適切な方法で他人の文章を「盗用」すると、試験におけるカンニングと同じ不正行為として、処分の対象となることを覚えておきましょう。

「盗用」とは、先輩、友達、もしくはインターネットのウェブサイトの文章を、あたかも自分で書いた文章であるように、そのまま丸写しをしたり、また、自分の代わりに友達や恋人など他の人に書いてもらったりすることです。「盗用」しても、英語の力は伸びません。英語の力が伸びなければ、自分の力もつきません。また、目指した最終評価も獲得できません。

英作文をする中で、わからなくなったら、辞書や参考書で調べて、そこに載っている例文を自分なりに読み取って、単語を変えたり、時制を変えたりしながら、自分の言葉にして書きましょう。そうすれば、それらが知識となって、皆さんの中に残っていくはずですよ。

▼「遅刻」について

授業のプリント配布や説明は、授業開始後すぐに行います。遅刻をすると、授業についていけなくなります。遅刻をしないように気をつけましょう。15分以上の遅刻は欠席になります。

ホームポジション(home position)制

キーボードで、キーに指を置く基本の位置のことを、ホームポジションといいます。本授業では、毎回授業の初めに、基本の位置に座ります。その座席のことを、ホームポジションといい、決まった座席に座ることを、この授業では、ホームポジション制と呼びます。授業が始まる時は必ず、その席に座ってください。

学習に必要なもの

テキスト… 学習目標や授業の流れを確認します。なお、文法のページは自由に見て、自分でも文法ノートや単語帳を作成しましょう。作成することができたら、最後のページに記録します。

辞書・参考書… 授業中わからないことがあったら、すぐに単語や表現を調べられるように、自分が使いやすいと思う辞書を、用意しましょう。辞書の有無は、作文の質に影響します。

配布プリント … 振り返りシート(書き方は次項を参照)、ライティング・シート(英作文の提出用紙)など

振り返りシート：

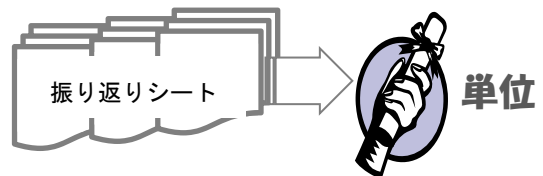
振り返りシートは、学習した意味を確認して次の学習の計画に役立てるために書きます

この授業では、「振り返りシート」に記入することで、授業に出席し、活動をしたとみなします。

授業を「振り返る」とは、狭い意味では、今日何をしたかをまとめることです。しかし、それだけでは、単に1回限りの授業の繰り返しになってしまいます。ここで授業を「振り返る」とは、その日にしたことを、過去の授業で何をしてきたのかを見直して(振り返って)、全体の中で関連づけてまとめることです。そうすると、今回の授業がなぜ必要だったのか、そして自分の最終目標を達成するために、今日どこまで進めておく必要があるのかなどを、自分で判断することができるようになります。

「振り返りシート」は、未来の自分へのメッセージです。学習の前に、前週の自分が書いたメッセージを読み直してください。モチベーションを保ったまま、そして予定通りに、最後まで学習を継続させる力につながります。読み直したときに、「振り返りシート」が日記のようにつながっていると、振り返りがうまく機能していると判断できます。

【振り返りシート 記入例】



※(2)と(3) -->2回以降は、前週(または、プロジェクトごと)のプリントと関連づけて反省や抱負を書くようにしましょう。

(1)What did you do in today's class? (ここだけは、すべて英語で書きます。)

★英文を書くときは、意味の順番を守って書きましょう

誰が(I)→する・した(過去形)(studied)→何を(English)→だれと(with classmates)

⇒ I studied English with my group members. I reviewed sentence patterns.

Finally, I wrote a paragraph about myself.

(2)Write a reflection.

(今日できたこと、うまくできなかったこと、それについての気持ちや気づいたことを書きます)

◎書いているうちに、昔のことを思い出してきて、楽しかった。(できたこと)

◎今日は自己紹介をして、めっちゃ基礎の英語で話すことができた。次回はもう少し難しい表現がしたいから、使えそうな構文を調べて単語帳に書いておこう。

○頭で考えたことを、英語になおすのが、難しかった。(うまくできなかったこと)

○意外と英単語が出てこなくて、苦労した。次回は高校のときに作った単語帳を持ってくる!

(3)Write a message to yourself in the next week.

(今日の自分から、来週の自分へ、具体的なメッセージを書きます)

◎今日は辞書を忘れたから、来週は持ってきて、正確な英文を書けるようにしたい。

◎今日は「まとめの英作文」の内容を全部考えることができなかった。授業は、あと2回しかない。来週の授業では、英文を書いていけるように、日本語文を考えてくる。

(4)振り返りシートに記入したら、欄外の表現の中からあてはまるものを自分で○で囲み、自分以外の人から承認をもらってください。↓↓↓ 承認のない振り返りシートは空欄有とみなし点数が0になります。

□Let's check the review! 「振り返り」をチェックしましょう!

【あとで読んで参考になる(2) 空欄なく書けている(1) 空欄があるまたは15分以上の遅刻をした(0)】

(Signature *Machiko Nonogami*) ←シートを確認した人がサインして下さい。


サイン(Signature)の意味==>()の中の○で囲んだ項目が合っているかどうかを確認したという意味になります。サインをする人が最後の確認者です。記入漏れがないかももう一度確認してサインしましょう。

◆この授業のスケジュールを知りましょう。

2014年前期の学習予定

授業開始時は、いつもホームポジションに座ります。

★印は英作文の提出など点数が加算される回を示しています。

<p>Orientation [オリエンテーション]</p> 	<p>L1</p>	<p>◎テキスト配布</p> <p>(1) ホームポジションを確認します。 4人くらいのグループを作ります。 (2) 授業のイメージと学習予定を確認します。 (3) 学習方法と成果の判定方法を理解します。 (4) 自己紹介をしながら、クラスメイトと知り合います。 (5) 前期の目標設定をします(何を達成したいですか)。 (6) 振り返りシートに記入します (7) 来週から始まる課題の準備をします。</p> <p>ポイント>これまでの自分、現在や未来の自分自身を、次回、どのようにマインドマップの中で表現するかを考えてきます。</p>
<p>PBL1 Mind Map ① [自分を表現する①]</p>	<p>L2</p>	<p>個人で、自分に関するマインドマップを描きます。幼稚園(保育園)時代の自分、小学校の自分、中学校の自分、高校の自分、大学の自分、大学卒業後の自分について、考えながらマインドマップを仕上げます。</p> <p>開始30分後: Gallery Walk (クラスメイトの作品を、自由に見て回りましょう。また、見学者と感想などを話しましょう。)</p> <p>文法1: 英文の作り方 (Forest 10~45) 人称代名詞 (Forest 499)</p> <p>文法2: 基本的な文の形 (Forest 32~54)</p> <p>ポイント>次回提出のWriting1のために、マインドマップの内容を英語にする準備をします。文法1、2を復習しておきましょう。</p>
<p>★PBL1 Mind Map ② [自分を表現する②]</p> <p>判定1回目(2点)</p>	<p>L3</p>	<p>個人で、自分について文章で表現します。</p> <p>前回マインドマップで描いた自分自身について、英文にします。[文法1と文法2]を見て英文を作りますが、できるだけ多く、長い英文を作ることを目指しましょう。</p> <p>Writing1 提出(5語以上の英文が5文以上, 50 words程度)</p>
<p>PBL2 4-frame Story ① [4コマ・ストーリー①]</p>	<p>L4</p>	<p>個人で、4コマ・ストーリーを作ります。</p> <p>(1) 全体で1つのお話になるように、4つの場面の物語を考えます。実体験、また本当の話でも架空の物語でも結構です。オチがあるとストーリーとして、面白いかもしれません。</p> <p>(2) 4場面の1つは過去、1つは現在、1つは未来の場面です。もう1つは過去でも未来でも自由に時間を選んでください。</p>

		<p>(3)各場面に挿絵を描き日本語 1 文～2 文で語りを書きます。</p> <p>(4) その日本語文を英語にします。◎英文でも、過去形、現在形、未来の表現の全てを使わなくてはなりません。</p> <p>文法3： 過去・現在・未来の表現 (Forest 56～80)</p> <p>宿題>発表のため 4 コマ・ストーリーを完成させてきましょう。</p>
<p>★PBL 2</p> <p>4-frame Story ②</p> <p>[4 コマ・ストーリー②]</p> <p>判定 2 回目(2 点)</p>	L5	<p>グループで、4 コマ・ストーリーを披露します。</p> <p>(1) 4～5 人でグループを組みます</p> <p>(2) グループ内で、4 コマ・ストーリーを順に発表します。 日本語と英語の両方を使って、グループの人に説明します。</p> <p>(3) 発表が終わったら、コメントしましょう。</p> <p>◎コメントを参考に 4 コマ・ストーリーを修正し完成させます。</p> <p>Writing 2 提出</p> <p>ポイント>英語と日本に訳されている絵本を探して、違いがあるか比べてみましょう。</p>
<p>PBL 3</p> <p>Parallel Translation①</p> <p>[翻訳絵本①]</p>	L6	<p>個人で、日本語の絵本を英語に翻訳します。</p> <p>(1) 日本語の絵本を選びます。</p> <p>(2) 英語に翻訳していきます。</p> <p>(3) 振り返りシートに記入します。</p> <p>文法4： 時や場所を表す表現 (Forest 564～588)</p> <p>ポイント>1 冊分の翻訳を完成させてきましょう。プリントを見ないで、訳した英語から日本語にしてみましょう。</p>
<p>PBL 3</p> <p>Parallel Translation②</p> <p>[翻訳絵本②]</p>	L7	<p>個人で、次週にむけて絵本の英語翻訳を仕上げます。</p> <p>(1) 2 冊めの日本語の絵本を選びます。</p> <p>(2) 英語の絵本を完成させます。</p> <p>(3) 振り返りシートに記入します。</p> <p>文法5： 完了形 (Forest 81～108)</p> <p>ポイント>2 冊めの翻訳を完成させてきましょう。プリントを見ないで、訳した英語から日本語にしてみましょう。</p>
<p>★PBL 3</p> <p>Parallel Translation③</p> <p>[翻訳絵本③]</p> <p>判定 3 回目(2 点)</p>	L8	<p>(1) 比較分析シートに日本語、プロの英語、自分の英語を写します。</p> <p>(2) 自分の英語訳を振り返り、良かった点や改善点をリストアップします。プロの英語訳を見て気づいた点もまとめます。</p> <p>(3) 振り返りシートに記入します。</p> <p>(4) 次週から活動するチームを確認します。</p> <p>Writing 3 日英対照表 1 枚以上</p> <p>ポイント>発表内容に関する資料を調べ、持参します。</p>

<p>PBL 4 Poster Session ① [ポスター発表 ①]</p>	<p>L9</p>	<p>(原則として) チームで、ポスターを用いて発表します。 (1) 最初はホームポジションに座ります。チームを組んだら チームごとに座席移動して、作業を始めましょう。 (2) 発表するトピックを選びます。 (3) メンバーで役割の分担をして、作業を始めます。 (4) 各自が次週までにしてくることを確認します。 (5) 振り返りシートに記入します。 ポイント>ポスター用の写真や資料を準備します</p>
<p>PBL 4 Poster Session ② [ポスター発表 ②]</p>	<p>L10</p>	<p>チームで、次週のための発表準備をします。 (1) ポスターを完成させます。 (2) ポスターを、どのような形で用いて発表するのかを、 考えて、発表原稿を用意しましょう。 (3) 発表の分担を考え、発表練習をします。 (4) 次週までにしてくることを、確認します。 (5) 最後に振り返りシートに記入します。 発表を成功させるために、それぞれの役割を確認しましょう。 文法 6 : 英文のつなぎ方 (Forest 590~609) ポイント>ポスター、原稿が未完成のチームは、次の発表会までに 必ず完成させてきます。</p>
<p>★PBL 4 Poster Session③ [ポスター発表 ③]</p> <p>判定4回目(2点)</p>	<p>L11</p>	<p>チームで、ポスター発表を行います。 (1) チームごとにポスター発表を行います。オーディエンス (聞いている人)は判定基準に基づいて、発表を判定します。 (2) 自分たちの発表を振り返り、良かった点や改善点をリス トアップします。 (3) 最後に振り返りシートに記入します。 Presentation ポスター発表を行う ポイント>自分の発表内容について、原稿を見ずに英語で書けるよ うに、内容を復習してきましょう。(来週の授業中に完成)</p>
<p>★PBL 4 Writing About Your Topic [英作文]</p> <p>判定5回目(3点)</p>	<p>L12</p>	<p>発表のまとめとして、個人で英作文を仕上げます。 (1) パラグラフ(段落)の書き方について学習します。 (2) 「構成 1, 2」に従ってタイトルや形に沿って清書できる よう、原稿を見直します。 (3) 発表したトピック について(発表原稿を写すのではなく) 自分のことばで清書用の用紙に書き直します。 (4) 完成した英作文はファイルに入れて提出します。 (5) 振り返りシートに記入します。 構成 1 : タイトルをつける 構成 2 : パラグラフの形式 Writing 4 提出</p>

		<p>ポイント>次週「まとめの英作文」のトピックを考えます。</p> <p>例： My Future Plan, My Dream, My Favorite Food</p> <p>必要な調査や資料の準備をして、書く内容をまとめます。</p>
<p>PBL5 まとめの英作文 ①</p> 	L13	<p>個人で、自由課題でまとめとなる英作文を仕上げます。</p> <p>パラグラフ(段落)の構成について学習します。</p> <p>構成 3：パラグラフの構成要素</p> <p>前回の続きで、「まとめの英作文」の下書きをします。特に「構成 1, 2」を意識しながら、言いたいことが相手に伝わるように表現しましょう。</p> <p>文法の総復習：動詞の形を確認 (Forest 610~615)</p> <p>ポイント>下書きを完成させましょう。</p>
<p>★PBL 5 まとめの英作文 ②</p> <p>判定6回目 (自己 15点)</p>	L14	<p>まとめの英作文② 自由課題</p> <p>(1)「まとめの英作文」を見直します。</p> <p>(2)早く書けたら英作文を交換して相互に読みあいましょう。</p> <p>(3)清書が完成したら、自己採点をします。</p> <p>(4)「まとめの英作文」を提出します。</p> <p>Writing 5 提出 (100 words 以上)</p>
<p>★前期振り返り</p> <p>振り返りの判定 (5点)</p>	L15	<p>前期振り返り</p> <p>(1) 前期授業の成績を自分で計算します。</p> <p>(2) 前期授業の振り返りをします。</p> <p>(3) 前期の成績をピアレビュー (交換して確認) します。</p> <p>Review 提出</p>

テキスト評価

テキスト評価とは、以下のような点数のつけ方をすることです。そのような点数のつけ方は、評価を放棄していることと同じです。

- ・「4点くらいでいいや〜」など自分の作品に向き合わないで点数を決める
- ・点数が目標点に達しないからといって満点をつける

評価を放棄したとみなせる場合は以下のように点数が変更されます。

- ・60点以上の人の最終成績は ⇒自動的に60点
- ・60点未満の人の最終成績は ⇒教師点の追加なし

- ✳ 前期授業終了時には、その目標に達成できるように、出席と提出物の管理に気を付けましょう。
- ✳ 文法のページを読み、英作文を書くときに使えるような英文の作り方を、**文法ノート**に書きこんでおきましょう。余裕のある人は、英文法参考書『フォレスト (Forest)』の指定のページや文法の本を学習して、その情報もノートに記入します。使えるような英単語や表現は、**わたしの単語帳**に書きこんでいきましょう。文法ノート、単語帳は毎回の予習・復習用です。まとめて提出してもカウントされません。

学習成果の判定

この授業では、最終授業で自分の成績評価の根拠となる点数を自己計算します。

単位取得のための最低点は60点です。優(80点以上)を目指す人は自己採点で満点取得を目指しましょう。合計70点に、教師点(まとめの英作文最大15点+授業点-10~10点)が加算されます。

※ライティングなどによっては以下の点数以外に、加点ポイントが追加されることがあります。

※成績表に掲載される評価は次の通り: 優(80点以上)、良(70点以上)、可(60点以上)、不可(60点未満)その根拠となる成績判定の計算方法は、以下の通りです。

- ① **授業参加点(15回) 振り返りシート(各2・1・0) × 15回** 最大 30点
 [あとで読んで参考になる(2) 空欄なく書くことができた(1) 空欄あり or 15分以上の遅刻をした(0)]
- ② **判定(6回) Writing 4(3点)×1回、Writing 1~3(各2点)×3回** [各未完成1点、未提出0点]
 + **Presentation(2点)×1回** [準備日欠席は1点、発表日欠席は0点] 最大 11点
- ③ **まとめの英作文** 判定基準による自己判定15点 (下記基準参照) 最大 15点
- ④ **前期授業の振り返り** 5点
- ⑤ **自己採点ピアレビュー** 確認した 3点、確認ミスした-5点、確認者なし-10点 3点
- ⑥ **文法ノート** 5レッスン分 1点×3(15レッスン分)、4レッスン以下 0点 最大 3点
- ⑦ **わたしの単語帳** 5レッスン分 1点×3(15レッスン分)、4レッスン以下 0点 最大 3点

★前期成績の自己判定の目標点数は です。 自己判定 **合計(最高) 70点**

◆「まとめの英作文の判定基準」◆

内容	伝えたい内容が十分伝わって、読み応えがあり、読むと人に伝えたいくなる	5点
	伝えたい内容がある程度伝わり、読み応えがあると感じられる	4点
	伝えたい内容が少し伝わるが、物足りないと感じられる	3点
	伝えたい内容が、何となくはわかるが、あまり伝わっていない	2点
	伝えたい内容がよくわからない。読み応えがない	1点
文法	すべての英文は文法的に完璧だという自信がある。単語と文の種類が豊富である	5点
	ほとんどの英文は文法的に正しいという自信がある。 同じ単語の繰り返しは少なく、文の種類は3種類以上ある。	4点
	英文については、少し自信がある。 同じ単語を繰り返して使ったが、文の種類は3種類以上ある。	3点
	英文については、あまり自信がない。同じ単語を何度も繰り返して使った。	2点
	英文については自信がない。固有名詞が多い。	1点
	加算1	150words 以上書いた (タイトルと本文の英単語のみで、コンマやピリオドは含みません)
加算2	「パラグラフの形式」に従って書けた (タイトル・字下げ・句読点・改行に関するきまり)	2点

※「まとめの英作文」の自己査定が、テキスト評価である、基準と著しく異なる、また計算ミスがあると複数の教師が判断したときには、適正な査定に差し戻します。

Lesson 1

オリエンテーション

月 日

ライティング授業の学習目標	前期学習目標	本時の学習目標
クラスメイトと協力して、読み応えのある内容を、正しい英文を意識して書けるよう、主体的に学習できるようになる	正しい英文を意識して、1つのテーマについてできるだけ多く長い英文を書けるように、クラスメイトと協力しながら、自分で楽しみながら学習する	前期の学習計画を立てる。 ①全体の授業の流れを自分の言葉で説明する。 ②自分の目指す最終成績を得るための具体的な計画を立てる。 ③クラスメイトを知る。

◆この授業の学習目標と本時の学習目標を知りましょう。

まず、授業が始まる前に、学習の目標を読んで、この授業が終わる頃何を達成したいか意識してください。目標はプロジェクトごと、授業ごとに明記されています。全体の中でそれぞれの授業がどのように位置づけられているかを知りましょう。

◆この授業から始まるプロジェクトを知りましょう。

まず、授業が始まる前に「学習の流れ」を読んで、内容確認と時間配分を行います。

第 1 回 学習の流れ

◎クリアファイル、名前シール、インタビューシート、振り返りシート配布

- 概要
- (1) 授業の目標、進め方、15 回の流れ、判定を理解します。
 - (2) 来週から授業を行うための準備として、自己紹介の活動をします。
 - (3) 目標成績を得るために必要な最終得点を決め、今日の授業を振り返ってまとめます。

- ◆確認事項◆ ホームポジションはどこですか。どのグループに属していますか。
提出用クリアファイルを準備できましたか。

- ◆説明◆ この授業では、主として、自分でテキストを読み、学習を進めていきます。



自分で学習の予定を把握するため、(〇〇分)を参考にしながら、作業に必要な時間を予測し、__:__に時刻を書きましょう。授業は **90分** です。

:__ 授業スタート

(45 分) ホームポジションに座ります。テキストとファイルを各自受け取って下さい。

(次週からは、ファイルは指定のフォルダーから抜いて、自分で席に持っていきます。)

テキストを読む ↓

テキストを読み、下記内容を確認します。

○前期授業内容に関して:「はじめにー学習のイメージ」

「学習目標」「学習の前にー「盗用」と「遅刻」ー」「ホームポジション制」
「学習に必要なもの」「2014 年前期の学習予定」「学習成果の判定」など

○本時に関して: 「学習の流れ」、そして「自己紹介」「目標成績を設定して学習予定をたてる」

___:___ 自己紹介

(20 分)「自己紹介」の手順に従って、自己紹介を行います。交換した情報は、インタビューシートに記入して下さい。

___:___ 目標成績の設定、振り返りシートの作成

(15 分)「目標成績を設定して学習予定をたてる」の手順に従って、前期が終わる時、英語をどのくらい進歩させたいかを考えながら、「学習成果の判定」の欄を見て、自分の最終得点を算定して下さい。合わせて、「振り返りシート」に記入します。

___:___ クリアファイルに、記入済みの「振り返りシート」を入れて、ホームポジションごとに用意された

(10 分前には終了できるよう、余裕を持って予定をたてましょう) フォルダーに提出して終了

次の授業への準備 これまでの自分、そして現在、未来の自分自身を、次回、どのように表現するかを考えて、マインドマップで使う 3 色以上のカラーペンを用意します。

自己紹介

この授業では、クラスメイトと一緒にいろいろな課題をこなします。まずは、できるだけ多くの人にインタビューして、情報交換をしながら、クラスメイトはどんな人なのかを知りましょう。

●手順:

1. インタビューシートに自分の情報を書き込みます。
2. まずは、ホームポジションの近くに座っている人と、情報を交換します。二人一組が基本ですが、臨機応変に、三人一組や四人一組になってインタビューし合ってもかまいません。
3. 10 分間の間に、できるだけシートが全部埋まるよう、インタビューします。同じ専攻の人をみつけるのもよいでしょう。クラスメイトの共通点や違いを知って、次週以降の授業に備えます。

目標成績を設定して 学習予定をたてる

ホームポジションに戻って、前期の学習の目標設定をします。

●手順:

1. 希望する目標成績を設定し、それを取得するための学習予定(点数のシミュレーション)を立てます。(出席は何回必要か、「振り返りシート」は何点を狙う必要があるか、判定のある日を確認しておくことなども含まれます)
2. 「成績計算シート」に記入します。

Lesson 2

自分を表現する①

月 日

前期学習目標	プロジェクトの学習目標	本時の学習目標
正しい英文を意識して、1つのテーマについてできるだけ多く長い英文を書けるように、クラスメイトと協力しながら、自分で楽しみながら学習する	正しい英文を意識して、自分をについて、マインドマップを使って情報を整理しながら、できるだけ多く長い英文を書く	自分を表現するために必要な技術を身につける ①マインドマップを習得する ②文法1を理解する。 英文の作り方 (Forest 10~45) 人称代名詞 (Forest 499) ③文法2を理解する。 基本的な文の形 (Forest 32~54)

◆この授業の学習目標と本時の学習目標を知りましょう。

◆この授業から始まるプロジェクトを知りましょう。

本時より、1 つめのプロジェクト「自分を表現する」(L2, L3) が始まります。まず、日にちを書き込み、学習の流れを確認しましょう。

PBL1

L2 月 日 Mind Map ①

[自分を表現する①]

文法1 : 英文の作り方

人称代名詞

文法2 : 基本的な文の形



L3 月 日 Mind Map②

[自分を表現する②]

判定 1 回目 (2点) Writing 1

本時は、「マインドマップ」という手法を学びます。何を書いたら良いのか、まとまらないとき、相談相手がいなくても、一人で書く内容を考え、まとめていくのに役に立つ方法です。そして、本時の授業内容は、L3 で、1 回目判定 Writing 1 [自分を表現する] を書くための準備になります。そして、このプロジェクト学習 (PBL) 1 (L2 と L3 の活動) は、前期「まとめの英作文」の内容を充実させ、自己得点 (成績) を高めることにつながっていきます。(「学習成果の判定」参照)

本日の教材

テキスト 振り返りシート マインドマップ作成に必要な物 (A4 以上の白紙、最低3色以上のカラーペン)

第2回 学習の流れ

準備 自分自身についてどう書くのか、マインドマップを構想しておきましょう。

概要 (1) 次のページを読み、マインドマップの書き方について勉強する
(2) マインドマップを実際に使って、自分について考えてきたことを表現する

◆授業時間を有効に使えるように、以下の学習の流れを確認して、時刻を書き込み計画的に進めます。

___:___ 授業スタート

(15分) ホームポジションに着席します。カラーペンや用紙など、各自持って、席についてください。

テキストを読む ↓

テキストを読んでマインドマップの描き方を勉強します。

___:___ マインドマップ制作

(15分) 幼稚園(保育園)時代の自分、小学校の自分、中学校の自分、高校の自分、大学の自分、大学卒業後の自分について、考えながら、マインドマップを仕上げます。単語を英語で書いておくと、来週の英作文のときに、役立ちます。

___:___ ギャラリーウォーク

(15分) アイデアにつまったり、どんな風に描いていいのかわからなくなったりしたときは、ぶらりと出かけて、クラスメイトの作品を見せてもらいましょう。お互いにアイデアを共有することで、よりよいマインドマップが作成できます。あなたの作品を見たい人がいれば、見せてあげてください。代わりに感想をもらったり、新たなアイデアや刺激を得たり、励ましを受けたりすることができます。

___:___ 正しい英文を書くための規則(文法)を学ぶ

(25分) 来週のライティングの準備として、英文法を学びましょう。文法のページの[文法1,2]を読み、[自分を表現する]ときに使えるような、英文の作り方や人称代名詞の用法を、来週のために文法ノートに書きこんでおきましょう。余裕のある人は、英文法参考書『フォレスト(Forest)』の指定のページを学習して文法ノートに追加します。そして、使えるような英単語や表現は、わたしの単語帳に書きこんでいきましょう。1度の授業につき、5つの英単語でも、15回の授業が終わると75語も英単語が増えることとなります。文法ノート、わたしの単語帳を作成したら、毎回、テキスト最後にあるシートにシールを貼り、記録しておきます。

___:___ 振り返りシート記入

(10分)

___:___ 提出して修了

(10分前)

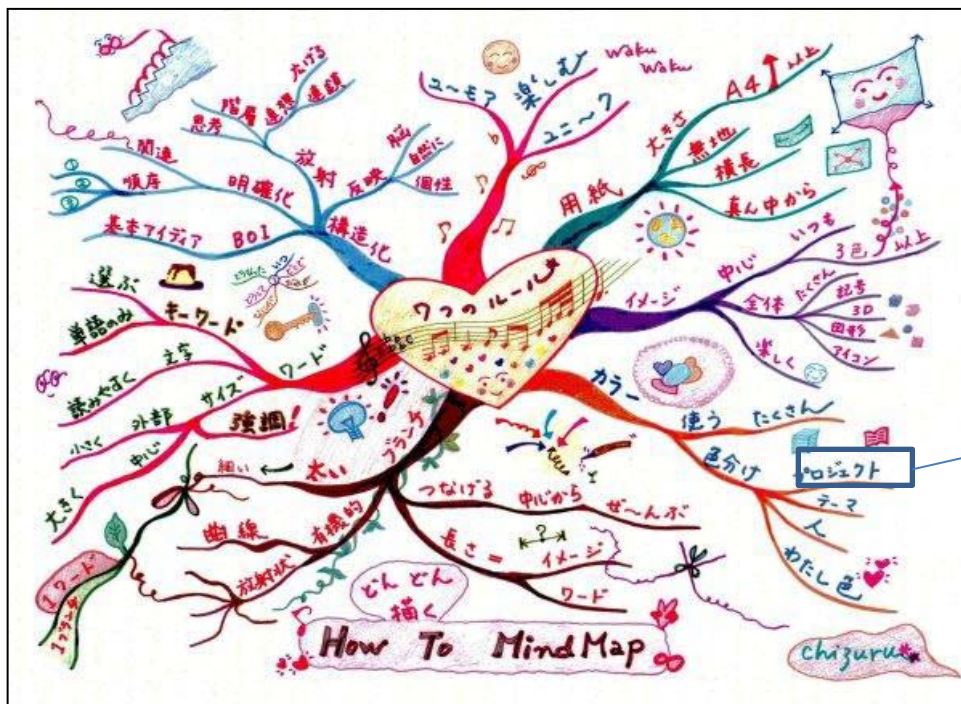
次回の授業に準備してくるもの 次回の[自分を表現する]Writing1に必要なもの

(仕上げたマインドマップ、辞書、参考書、文法ノート、わたしの単語帳など)

宿題>マインドマップが仕上がっていない人は、仕上げてください。そして、マインドマップの内容を英語にする準備として、使えるような文法事項、英単語や英語の表現を調べて、まとめて書いていきましょう。

<7つの原則> マインドマップを書くときには、次の7つの約束を守りましょう。

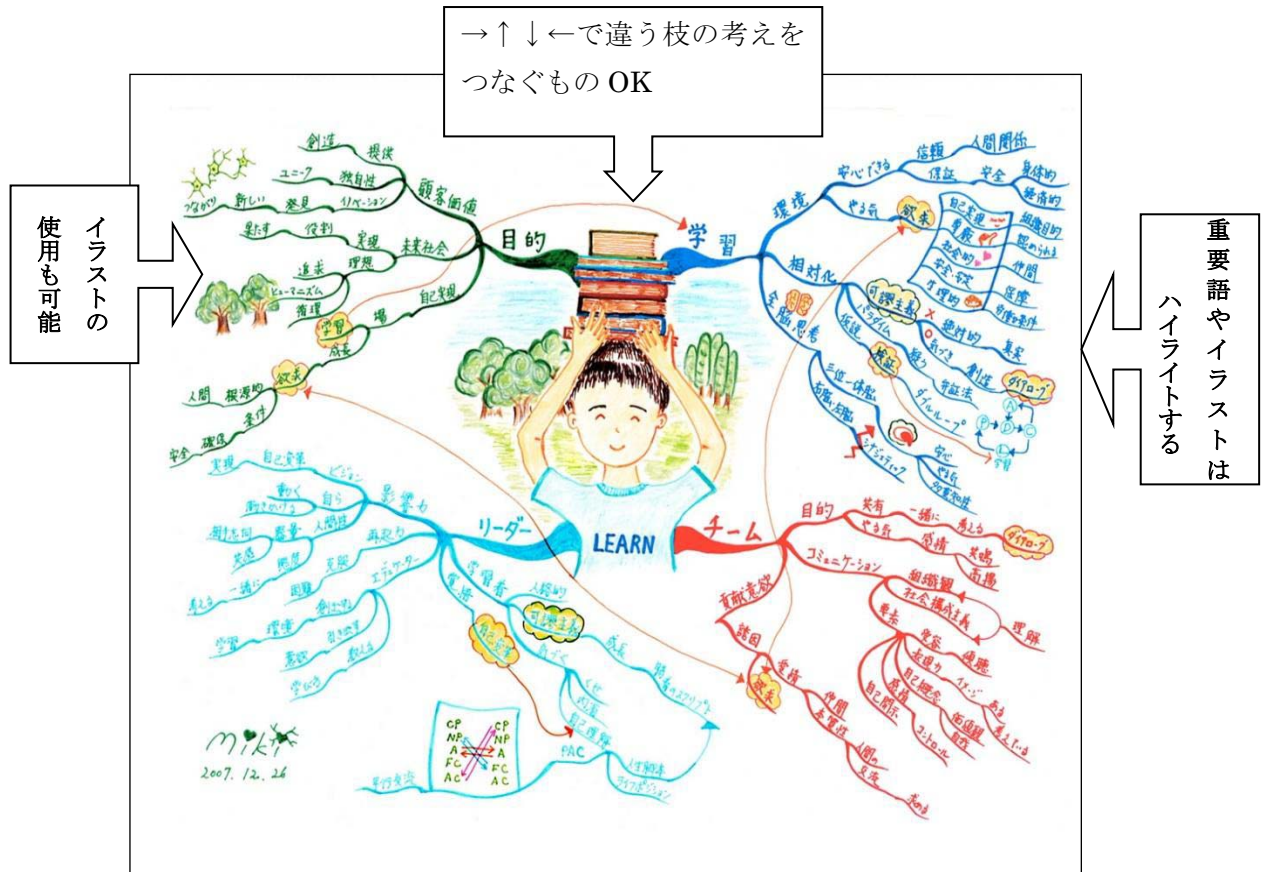
- 1) **用紙** - A4以上の無地の紙を横長において描く
- 2) **セントラル・イメージ** - 紙の中心から描き始める。中心の絵は「セントラル・イメージ」と呼ぶ。ここでは、「考えたいと思うこと」を絵にして、完成までに5分程度かけ、3色以上の色を使って、丁寧に仕上げる。
- 3) **カラー** - カラーペンなどを使い、全体に、思いつくままカラフルに描く



単語を
英語で書く
例 projects

(出典 http://www.mindmap.or.jp/index.php?cmd=show_fellow&id=13 2012/04/09 取得)

- 4) **枝(ブランチ)** - 中心の絵(セントラルイメージ)から、線を、枝として、放射状に伸ばしていく。1つの枝に1語のアイデアを載せる。その枝に、また新たな枝を描き足して、次のアイデアを載せる。枝は、中央に近いほど太く、枝先にいけばいくほど、細くする。
- 5) **言葉** - 枝の角度に沿って、枝の上に載せるように、言葉を書いていく。言葉は、文章を避けて、単語を書く。字の大きさに変化をつけてもよい。
- 6) **記憶のフック** - 枝の上に、言葉の代わりにマークやイラストを載せることもできる。似ている考えは、まとめて囲んだり、印をつけたり、色分けしたりすると、整理しやすい。
- 7) **楽しむ** - 描くことを楽しむ♪

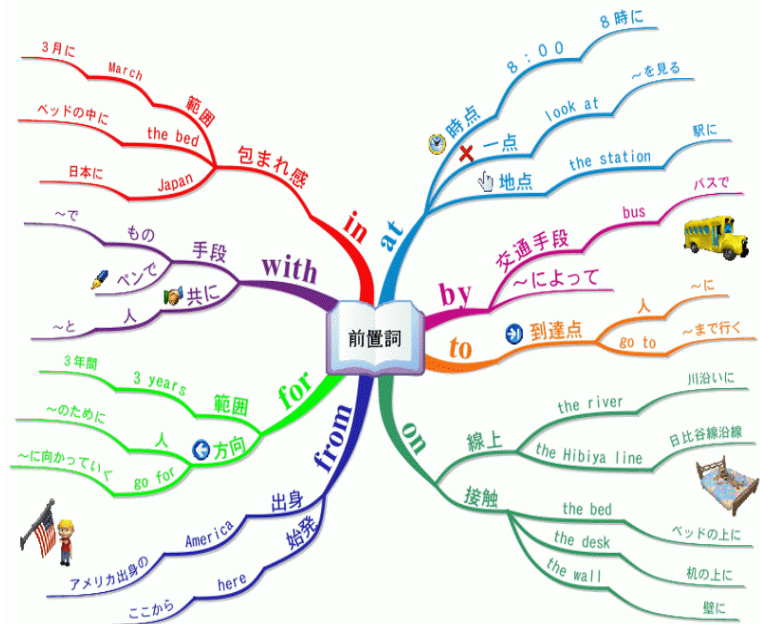


(出典 <http://www.yumekeiei.com/htmls/mindmap.html> 2012/04/09 取得)

<マインドマップの使途>

マインドマップはこんな場合に使えます。

- 1) 新しいアイデアを出す
- 2) 考えを整理する
- 3) コミュニケーションをとる
(話のネタ)
- 4) 記憶を定着させる
- 5) 記録やマニュアルとして



出典 http://www.mindmap.or.jp/index.php?cmd=show_fellow&id=13 2012/04/09 取得

では、マインドマップで、自分自身を表現してみてください。たとえば、幼稚園(保育園)、小・中・高校、そして今は大学に通っていて、将来、大学卒業後、そしてそれ以降を順に考えながら、マインドマップを仕上げます。

Lesson 3

自分を表現する②

月 日

前期学習目標	プロジェクトの学習目標	本時の学習目標
正しい英文を意識して、1つのテーマについてできるだけ多く長い英文を書けるように、クラスメイトと協力しながら、自分で楽しみながら学習する	正しい英文を意識して、自分をについて、マインドマップを使って情報を整理しながら、できるだけ多く長い英文を書く	正しい英文を意識して、できるだけ長く自分を表現する ①マインドマップから情報を選択し、英文を作成する ②文法 1・2 を自分でまとめなおす ③文法 1・2 の知識を活かして、英文を書く ④Writing 1 を提出する 文の作り方・人称代名詞 (Forest 56~80) 基本的な文の形 (Forest 499)

◆この授業の学習目標と本時の学習目標を知りましょう。

◆この授業から始まるプロジェクトを知りましょう。

本時は、1つめのプロジェクト「自分を表現する」(L2, L3) の2回目、そして判定の1回目の Writing 1 の提出日にあたります。まず、日にちを書きこみ、学習の流れを確認しましょう。前回マインドマップに描いた情報の中から、自分について、よりよく説明できる枝(ブランチ)を選んで、できるだけたくさんの情報を、英文にしていきましょう。また、文法1「英文の作り方・人称代名詞」、文法2「基本的な文の形」を強く意識しながら、英文を書きましょう。

PBL1

L3 月 日 Mind Map②
[自分を表現する②]
判定 1 回目(2点) Writing 1



本日の教材

テキスト 振り返りシート ライティングシート L2 で描いたマインドマップ 辞書

学習の流れ

準備 L2 で自分についてまとめたマインドマップを準備しましょう。

概要 (1) マインドマップから必要だと思ふ情報を選び出す
(2) 自分について英語で表現する

◆授業時間を有効に使えるように、以下の学習の流れを確認して、時刻を書き込み計画的に進めます。

__:__ 授業スタート

(15 分) ホームポジションに着席します。配布資料およびファイルを各自持って席に着いてください。

テキストを読む ↓

テキストの文法1「文の作り方・人称代名詞」、文法2「基本的な文の形」の復習をします。

__:__ 英作文の作成

(55 分) マインドマップを見て、下書き用紙(Draft Sheet)に、思いつくままに、できるだけ多く、英文を書きます。英文を書く際には、[文法1]を使って、文法的に正しい英文を書くことを意識しましょう。そして、5語以上の英文を5文以上書きます。そして、推敲をして、文を並べる順番を考えます。順番が決まったら、語数(英単語の数)を数えてみましょう。50語以上ありますか。同じ単語を何度も繰り返して使っていませんか?最後に清書用のライティングシート(Writing Sheet)に、[自分を表現する]の英作文を清書します。英作文が完成したら、ライティングシートに獲得点数2点を記入します。なお、文法ノート、わたしの単語帳を作成した人は、テキスト裏のシートに記録しましょう。

__:__ 振り返りシートの記入 ホームポジションに戻って記入します。

(10 分)

__:__ 振り返りシートとライティングシートを提出して終了

(10 分前)

次回の授業に準備してくるもの テキスト、辞書、英文法参考書、文法ノート、わたしの単語帳

Lesson 4

4 コマ・ストーリーを書く①

月 日

前期学習目標	プロジェクトの学習目標	本時の学習目標
正しい英文を意識して、1つのテーマについてできるだけ多く長い英文を書けるように、クラスメイトと協力しながら、自分で楽しみながら学習する	時制を意識しながら、短くても正しい英文を書き、書いた文を筋の通る順に構成し、それらを共有する	文法を意識しながら、短くても正しい英文を書き、筋の通る順に構成する ①短い物語を作ることに慣れる ②文法3を自分でまとめなおす ③文法3の知識を活かして、英文を書く 過去・現在・未来の表現 (Forest 56~80)

◆この授業から始まるプロジェクトを知りましょう。

本時より、2つめのプロジェクト「4コマ・ストーリーを書く」(L4, L5)が始まります。まず、日にちを書きこみ、学習の流れを確認しましょう。

PBL2

L4 月 日

Writing 4-frame Story ①

[4コマ・ストーリーを書く①]

文法3 基本的な文の形



L5 月 日

Writing 4-frame Story②

[4コマ・ストーリーを書く②]

判定2回目(2点) Writing 2

本時は、全体で1つのお話になるように、4つの場面から成る物語を考えます。実体験、世の中で起こった本当の話、また架空の物語、何でも構いません。4つの場面のうち、最後の場面にオチを持ってくると、起承転結のあるストーリーになります。各4場面に、挿絵を簡単に描き、日本語文と英文による説明を入れます。[文法1、2]に加え、[文法3]過去・現在・未来を表す英語表現を使って英文を作成します。このような本時の授業内容は、L5で、判定2回目のWriting 2[4コマ・ストーリーを書く]を提出するための準備になります。そして、このPBL2(L4とL5の活動)は、前期「まとめの英作文」の文法分野を充実させ、自己得点(成績)を高めることにつながっていきます。(「学習成果の判定」参照)

本日の教材

テキスト 振り返りシート 辞書 参考書

4コマ・ストーリーを書くのに必要だと思われるもの(色鉛筆など)

学習の流れ

準備 4コマの場面で構成できる物語を考えておきましょう。

概要 (1) [文法3]について勉強する
(2) 4場面の展開を考えて、ざっと挿絵を描き、日本語で説明文を考える
(3) [文法3]を基に、日本語文を英文に翻訳する

◆授業時間を有効に使えるように、以下の学習の流れを確認して、時刻を書き込み計画的に進めます。

__:__ 授業スタート

(15分) ホームポジションに着席します。ファイルを各自持って席に着いてください。

テキストを読む ↓

テキストを読んで[文法3]について勉強します。

__:__ 4コマ・ストーリーを書く

(55分) ①全体で1つのお話になるように、4つの場面の物語を考えます。(フィクションでもOK)
② 4つの場面の1つは過去、1つは現在、1つは未来の場面にします。(もう1つは、自由)
③各場面の挿絵を描き、日本語1文~3文で、その場面を説明する文を書きます。
④その日本語文を英語に翻訳します。(過去・現在・未来時制の全てを使わなければなりません)

__:__ 振り返りシート記入 ホームポジションに戻って記入します。

(10分)

__:__ 振り返りシートを提出して終了

(10分前)

次回の授業に準備してくるもの 4コマ・ストーリー テキスト 辞書 参考書

宿題>次回の授業は発表です。4コマ・ストーリーが仕上がらなかった人は、必ず、家で仕上げてください。

4コマ・ストーリーについて

ここでは、物語の展開を考え、それを英語で説明することに挑戦します。

いわゆる4コマ漫画(4-frame comic strip)をイメージしてください。例えば、こんな感じです。



(⇒ 絵の中に、セリフは無くても構いません。)

日本語文： 母が、ごみの収集日だと言いました。

英語文： My mother said, "It is a trash collection day."



日本語文：母は、「ごみを出してきて」と言いました。

英語文：She told me to put trash out.



日本語文：私も、ちょうど捨てたいものがあります。

英語文：I have something that I really want to throw away.



日本語文：もし見つけたら、母はきっと怒るでしょうから。

英語文：She will be angry, if she finds it.

(参考 <http://www.homemate.co.jp/useful/english/comic/family/>)

このプロジェクトでは、4コマの絵よりも物語の方が重要なので、4コマ・ストーリーと呼んでいます。そして、[文法3]を学ぶために、4コマの中の動詞の時制を、1コマは「過去形」、1コマは「現在形」、1コマは「未来表現」と必ず3種類使って下さい。もう1コマの時制は自由です。

《4コマ・ストーリー例》

★私は突然クッキーが食べたくなりました/ Suddenly wanted to eat cookies.
 なので、それ(クッキー)を買うためにお店に行きました/ So, I went to the store to buy them.
 美味しいクッキーをたくさん買うぞ、と思いました/ "I will buy many delicious cookies there", I thought.
 しかし、お店は閉まっていた/ But the shop was closed.

★「今日は晴れ、明日までお天気は良いです」とテレビで言っていました。/

TV said, "It is fine today! Good weather will last until tomorrow."

私は洗濯することにしました/ I decided to do the laundry.
 洗濯機はまだ動いています/ My washing machine is still working.
 外を見たら、静かに雨が降ってきていました/ Oh, my god! It began to rain softly.

Lesson 5

4 コマ・ストーリーを書く②

月 日

前期学習目標	プロジェクトの学習目標	本時の学習目標
正しい英文を意識して、1つのテーマについてできるだけ多く長い英文を書けるように、クラスメイトと協力しながら、自分で楽しみながら学習する	時制を意識しながら、短くても正しい英文を書き、書いた文を筋の通る順に構成し、それらを共有する	書いた物語を紹介する。また、クラスメイトの書いた物語を理解して、コメントする ①書いた物語を紹介する ②ピアで（互いに）コメントし合える ③Writing 2 を提出する

◆この授業から始まるプロジェクトを知りましょう。

本時は、2つめのプロジェクト「4 コマ・ストーリーを書く」(L4, L5) の2回目、そして判定の2回目の Writing 提出日にあたります。まず、日にちを書きこみ、学習の流れを確認しましょう。前回、4 つの場面から成る物語を考えました。それをグループ内で、順に発表していきます。4 コマの物語を、絵を見せながら、日本語文を読み、英文も読んで、グループの人に説明しましょう。そして、コメントをもらい、修正して、清書します。特に、文法 3「過去・現在・未来の表現」が盛り込まれているかどうかを、お互いに確認しましょう。それだけではなく、文法 1「英文の作り方・人称代名詞」や文法 2「基本的な文の形」も復習して、その知識を、英文を書くときに生かしましょう。(余裕があれば、参考書も、みてみましょう。)

PBL2

L5 月 日

Writing 4-frame Story②

[4 コマ・ストーリーを書く②]

判定 2 回目(2点) Writing 2



本日の教材

L4 で書いた 4 コマ・ストーリー 消しゴム テキスト 振り返りシート 辞書 英文法参考書

学習の流れ

準備 L4 で書いた 4 コマ・ストーリーを用意して、グループを組みます。

概要

- (1) 発表することで、4 コマ・ストーリーがわかりやすく書けたかどうかを確認します。
- (2) コメントを参考にして 4 コマ・ストーリーを修正し、Writing2 として提出します

◆授業時間を有効に使えるように、以下の学習の流れを確認して、時刻を書き込み計画的に進めます。

__:__ 授業スタート

(10分) ホームポジションに着席します。ファイルを各自持って席に着いてください。

テキストを読む ↓

テキストの文法3を読んで、授業の進め方を理解します。

__:__ 4コマ・ストーリーの発表

(55分) ①4～5人でグループを組みます

②グループ内で、4コマ・ストーリーを順に発表します。日本語と英語の両方を使って、グループの人に説明します。

③発表が終わったら、ピアコメントしましょう。

●話の展開はわかりやすかったですか。

わからないところがあれば質問しましょう。

詳しく聞きたい内容があれば、それも質問しましょう。

●英語表現はわかりやすかったですか。

わからない単語や表現があれば質問しましょう。

過去・現在・未来の表現に気づいたことがあれば質問しましょう。

他のメンバーの4コマ・ストーリーの発表を注意深く聞いて、話の展開方法や、英語の文の作り方などを学びましょう。

④コメントや質問、発表した時の反応を参考に、4コマ・ストーリーを修正して完成させます。

⑤最後に、獲得点数を記入します。

__:__ 振り返りシート記入 ホームポジションに戻って記入します。

(10分)

__:__ 振り返りシートとライティングシートを提出して終了

(10分前)

次回の授業に準備してくるもの 絵本を翻訳するために必要だと思われるもの(テキスト、辞書、参考書)

宿題> 次回からは[翻訳絵本]が始まります。各自、参考になりそうな日本語と英語の両方で書かれた絵本を探して用意します。次回の授業までに、用意した絵本をみて、参考にします。

ピアコメント

ピアコメントとは、発表形式で相互に質問やコメントを直接しあうことです。コメントは、発表した人を非難することではありません。コメントや質問をたくさん受けると、時に落ち込む人を見かけます。コメントや質問があるとは、見方を変えると、発表者の発表を真剣に聞いてもらったという証です。自分の発表は客観的に見ることができないので、いただいたコメントや質問はよりよい作品に修正していけるヒントとなります。また、人の発表を見ることで、自分の発表を見直すこともできます。学生同志のピアコメントですから、気軽な気持ちで質問やコメントをしてみましょう。うまくコメントする力は、社会人にも求められる力です。

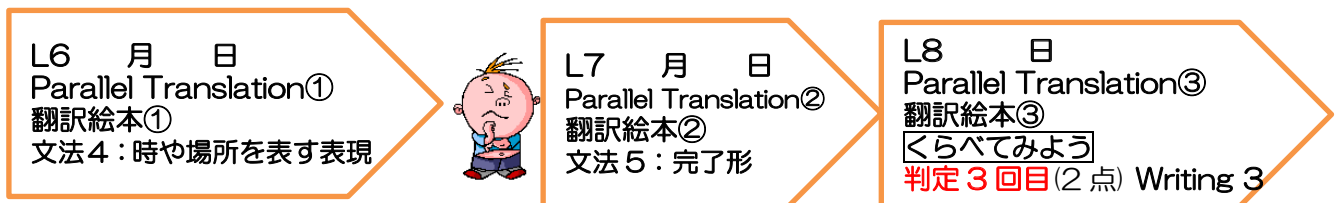
2014年前期	PBL3	6回目
Lesson 6	翻訳絵本①	月 日

前期学習目標	プロジェクトの学習目標	本時の学習目標
正しい英文を意識して、1つのテーマについてできるだけ多く長い英文を書けるように、クラスメイトと協力しながら、自分で楽しみながら学習する	絵本を題材に、シンプルな日本語文が、どのような英語で表現されているかを知る。そのうえで、[文法1]の 中間表現 を用いて自分の英訳に活かす。	日本語の絵本1冊を英語にする。 ①自分の力に見合った日本語の絵本を選ぶことができる。 ②中間表現を用いて英文を作る。 ③ 文法4 を自分でまとめなおす。 ④ 文法4 の知識を活かして、英文を書く。 時や場所を表す表現 (Forest 564~588)

◆この授業から始まるプロジェクトを知りましょう。

3つめのプロジェクト「翻訳絵本」(L6, L7, L8)の1回目です。まず、日にちを書きこみ、学習の流れを確認しましょう。今回は、すでに出版された日本語の絵本を題材にします。翻訳家になったつもりで、易しい英語で表現してみましょ。絵本は英語から日本語に翻訳されたもの、日本語から英語に翻訳されたものがあります。まず、見本を見て、どのように翻訳されているか調べてみましょう。次に、日本語絵本から2つ選んで翻訳し、2回の授業でそれを完成させます。

PBL 3



本日の教材

テキスト 振り返りシート 辞書 参考書 日本語で書かれた絵本

学習の流れ

- 概要
- (1)自分(もしくはチーム全体)の英語力に応じた日本語の絵本を2冊選びます。
 - (2)翻訳の予定をたてます。割り当てや段取りを決めて、取り掛かりましょう。

◆授業時間を有効に使えるように、以下の学習の流れを確認して、時刻を書き込み計画的に進めます。

__:__ 授業スタート

(10分) ホームポジションに着席します。ファイルを各自持って席に着いてください。

テキストを読む ↓

テキストを読み、「翻訳絵本①」の進め方を確認します。

__:__ 絵本をよく読み、2冊選びます。予定を組んで、見本を参考にしながら、翻訳に取り掛かります。

(50分) どの絵本を翻訳するか、選び方は自由です。短い作品、やさしい日本語、内容が好き、なじみがあるなどの方法があります。注意ポイントは、短さややさしい日本語という理由で安易に作品を選んではいけないということです。このような理由で選ぶと、かえって翻訳に苦勞することがあります。それは、必ずしもやさしい日本語が翻訳しやすい日本語であるとは限らないからです。日本語をよく見て、自分が翻訳しやすい日本語の作品を選ぶのがポイントです。

__:__ 作業終了 ホームポジションに戻ります。

(15分) 絵本の翻訳を始めた感想を、近くに座っている人と、自由に話してみましよう。

振り返りシート記入

__:__ 授業終了 振り返りシートはファイルに提出します。

(10分前)

○次回L7で翻訳を完成させます。未完成であれば、L8で加点が(完成2点のところ)1点となります。

次回の授業に準備してくるもの これまでのテキスト 辞書 参考書

宿題>授業中に1冊分の翻訳が完成できなかった場合は、次回までに完成させてきます。

どうして翻訳絵本？

翻訳絵本は、易しい表現を使ってどこまで内容が伝えられるかが体験できる課題です。子供用に書かれた絵本に使われている表現は、日本語でも比較的わかりやすいものです。わかりやすい日本語には、難しい単語や表現が使われていません。しかし、それらには内容があり、子どもだけではなく、大人にも十分伝わります。

また、わかりやすい日本語は、中間言語に直しやすい性質を備えています。そして、中間言語に直せた文は、正しい英文になる可能性が高くなります。正しい英文を、自力でわかりやすい英語を使って書けることは、伝えたい内容をより伝わりやすくする道具を手に入れたこととなります。みなさんは、最後にまとめの英作文を書きますが、この課題から得た成果を発揮できれば、わかりやすい単語と表現で十分内容を伝えることができます。

Lesson 7

翻訳絵本②

月 日

前期学習目標	プロジェクトの学習目標	本時の学習目標
正しい英文を意識して、1つのテーマについてできるだけ多く長い英文を書けるように、クラスメイトと協力しながら、自分で楽しみながら学習する	絵本を題材に、シンプルな日本語文が、どのような英語で表現されているかを知る。そのうえで、[文法 1]の 中間表現 を用いて自分の英訳に活かす。	日本語の絵本 1冊を英語にする。 ① 自分の力に見合った日本語の絵本を選ぶことができる。 ② 中間表現を用いて英文を作る。 ③ 文法 5 を自分でまとめなおす ④ 文法 5 の知識を活かして、英文を書く。 完了形 (Forest 81~108)

◆この授業から始まるプロジェクトを知りましょう。

3つめのプロジェクト「翻訳絵本」(L6, L7, L8)の2回目です。L7では、2冊とも翻訳を完成させます。まず、日にちを書きこみ、予定を確認しましょう。次に、それぞれのペースで作業の続きを行います。すでに2冊とも翻訳が完成している人は、英語の翻訳を、日本語を見ずに読み直してみましよう。英語の絵本として読みやすい表現が使えているか、英語にしてみると伝わりにくい表現はないかなどを検討します。最後に、2冊とも完成した時点で、ライティングシートに最終的に翻訳した英文を清書しましょう。

PBL3

L7 月 日
Parallel Translation②
翻訳絵本②
文法 5 : 完了形



L8 月 日
Parallel Translation③
翻訳絵本③
くらべてみよう
判定 3 回目 (2点) Writing 3

本日の教材

テキスト ライティングシート 振り返りシート 辞書 参考書 前回(L6)の翻訳原稿

学習の流れ

概要

(1) 前回(L6)の続きで、日本語文から英語への翻訳を続行します。

(2) 2冊分完成したら、推敲して、英文を(日本語とともに)ライティングシートに清書します。

◆授業時間を有効に使えるように、以下の学習の流れを確認して、時刻を書き込み計画的に進めます。

__:__ 授業スタート

(10分) ホームポジションに着席します。ファイルを各自持って席に着いてください。

テキストを読む ↓

テキストを読み、「翻訳絵本②」の進め方を確認します。

__:__ 前回(L6)の続きで、日本語文から英語への翻訳にとりかかります。

(50分) 完成したら、ライティングシートに清書します。

__:__ 作業終了 ホームポジションに戻ります。

(15分) 絵本の翻訳を始めた感想を、近くに座っている人と、自由に話してみましよう。

振り返りシート記入

__:__ 授業終了 振り返りシートはファイルに提出します。

(10分前)

○次回L8で、プロの英訳と自分の英訳をくらべて、どんな気づきが得られるのかをみていきます。

また、**判定3回目**ですので2点ゲットです。但し翻訳**未完成の人は、この得点が1点となります。**

次回の授業に準備してくるもの **L6で清書をしたライティングシート** 過去のテキスト 辞書 参考書
宿題>授業中に2冊分の翻訳が完成できなかった場合は、次回までに完成させてきます。



現在完了、過去完了、未来完了の文をいろいろ書いてみましょう。(どこから写しても構いません。)

Lesson 8

翻訳絵本③

月 日

前期学習目標	プロジェクトの学習目標	本時の学習目標
正しい英文を意識して、1つのテーマについてできるだけ多く長い英文を書けるように、クラスメイトと協力しながら、自分で楽しみながら学習する	絵本を題材に、シンプルな日本語が、どのような英語で表現されているかを知る。そのうえで、[文法 1]の中間表現を用いて自分の英訳に活かす。	絵本の比較を完成する。 ① 絵本の英文と自分の英訳を比べ、気付いたことを説明する。 ② 文法 3 と文法 4 で学んだ時や場所を表す表現、完了形を含む文を見つけ、その意味を説明する。 ③ Writing 3 と比較分析シートを提出する。

◆この授業から始まるプロジェクトを知りましょう。

3つめのプロジェクト「翻訳絵本」(L6, L7, L8)の3回目です。まず、日にちを書きこみ、学習の流れを確認しましょう。L6, L7で2冊の翻訳を完成させました。このL8では、プロの英訳と自分の英訳を比べて、どこがどう違うのかを、じっくりと見ていきます。時間に余裕があれば、クラスメイトと翻訳を見せ合ひましょう。1つの日本語からいろいろな英文に表現できることがわかるでしょう。

PBL 3

L8 月 日
Parallel Translation③
翻訳絵本③ くらべてみよう
判定 3 回目 (2点) Writing 3



本日の教材

テキスト 振り返りシート 2冊分の翻訳が清書されたL7のライティングシート 辞書 参考書
比較分析シート(Comparison Sheet)

学習の流れ

概要 (1)絵本の日本語文、絵本の英文、自分の英訳の3種類を比較分析シートに並べて書きます。
(2)3つの表現内容、英単語、英語表現など、全てを比較して、気づいたことをまとめます。

◆授業時間を有効に使えるように、以下の学習の流れを確認して、時刻を書き込み計画的に進めます。

__:__ 授業スタート

(10分) ホームポジションに着席します。ファイルを各自持って席に着いてください。

テキストを読む ↓

テキストを読み、「翻訳絵本③」の進め方を確認します。

__:__ 絵本の日本語文と2種類の英文(絵本の英文、自分の英訳)を比較分析シートに並べて書きます。

(50分) 2種類の英文を比べてみて、発見したこと、学んだ内容をまとめます。約1時間をフルに活用して作業します。少なくとも1冊分の対訳を完成しなければなりません。

__:__ 作業終了 ホームポジションに戻ります。

(15分) プロと自分の英訳を比較した感想を、近くに座るクラスメイトと話してみましょ。

振り返りシート記入

__:__ 授業終了 振り返りシート、2冊分の英訳が清書されたライティングシート、比較分析シートの

(10分前) 3種類をファイルに提出します。

○次回 L9 から 3 回連続で、新しいプロジェクト ポスター発表 が始まります。ポスター発表では、チームで活動しますので、基本的に3回全ての出席が求められます。もし1回でも休んでしまった場合は、ポスターで獲得できる加点2点が半分の1点になります。できるだけ休まず、体調を整えて、参加しましょう。

次回の授業に準備してくるもの 過去のテキスト 辞書 参考書 下調べした内容(以下に説明します)
宿題>以下の説明を読んで、調べてきましょう。

どんな内容を発表するの?—下調べをしてシールをもらおう!—



来週から始まるポスター発表では、チーム活動で、ポスター(今回は模造紙)を用いて発表します。テーマは「日本を紹介して外国から観光客を誘致する」です。日本のどんなことでもよいので、外国から日本を訪れる人の目線から面白いと思われることを調べて取り上げ、英語で発表します。

外国の人々は、意外なことに興味を持って、日本を見ています。日本に住んでいる私たちには普通のことでも、外国人々から見たらスゴイことや、珍しいことがあります。いろいろなサイトや本があります。ぜひ、下調べをしてきましょう。又、身近にいる外国人の友だちや知り合いに質問してみましょう。このようにして、下調べをした資料やノートがあれば、単語帳や文法ノートの代わりとして、シールを貼る対象とします。

下調べ方法の例

日本を紹介するガイドブックで調べる: *Getting Genki in Japan*, *A Geek in Japan*

インターネットや YouTube で検索する: 身近な外国の人に直接聞いてみる:

テレビ番組を見て調べる: NHK『クールジャパン』 『東京カワイイTV』

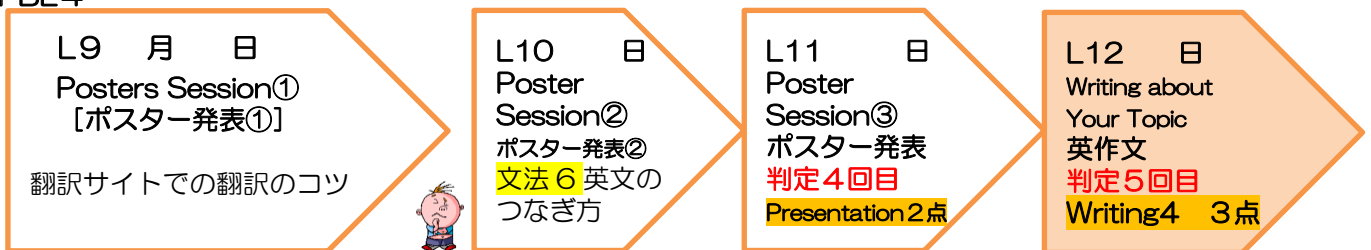
2014 年前期	PBL4	9 回目
Lesson 9	ポスター発表①	月 日

前期学習目標	プロジェクトの学習目標	本時の学習目標
正しい英文を意識して、1つのテーマについてできるだけ多く長い英文を書けるように、クラスメイトと協力しながら、自分で楽しみながら学習する。	チームで1つのテーマを選んで、1枚のポスターにまとめ、発表する。	チームメイトと力を合わせてポスター発表の準備ができる。 ①ポスターのテーマとテーマに従って分担を決める。 ②分担にしたがって作業する。 ③翻訳サイトを利用する際に、機械翻訳の特性に合わせた日本語を入力する。

◆この授業から始まるプロジェクトを知りましょう。

4つめのプロジェクト「ポスター発表」はポスター作り（L9, L10）とポスター発表（L11）その後の「英作文」（L12）を含む全4回の活動から成り立っています。一体となってプロジェクトを行うチームの力、また、チームの中で活躍できることをみつけて分担する個人の力を体験します。まず、最初の2回で発表内容（発表原稿）とポスターを完成させてから、ポスター発表を行い、その後、自分の発表内容について英作文を書きます。ポスター発表の共通テーマは「外国の人々に日本を紹介する」です。

PBL4



「ポスター発表①」L9～L11 の3回はチーム活動ですので、全出席が求められます。1回でも休むと、L11 で獲得する加点の2点が1点に減点されます。



なぜ、どうして、ポスター発表？

ポスター発表では、1つのテーマについて、ポスターで視覚的に訴え、口頭発表では聞き手にわかりやすい言葉で説明します。つまり、相手に自分の考えや思いを伝えるためにはどのような工夫が必要なのかを学び、そして実際に相手の反応を直接感じて、双方向のコミュニケーションを体験できるからです。

本日の教材

テキスト 振り返り用紙 調べたノート・資料(写真、印刷物、本) 辞書 参考書

学習の流れ

準備 今回のプロジェクトで活動するチームが決まります。
共通テーマは「日本を紹介して外国から観光客を誘致する」です。

概要 (1)チームで共通テーマに関係するテーマを1つ選ぶ
(2)チームメンバー1人に1つの具体的なトピックを選ぶ。
(3)作業分担に基づいて、作業を行う
(4)発表原稿を英語で作る ※最初と最後の挨拶も英語でしましょう。
◎発表時間は5分、原稿語数は500ワード以上、ポスターは模造紙(788×1091mm)

◆時間を有効に使えるように、スケジュールを確認して、時刻を書き込み、計画的に進めます。

__:__ 授業スタート

(10分) ホームポジションに着席。席に着く際に、自分のチーム番号、チームメンバーを確認して、配布資料とファイルを各自持って行きます。本時は、基本的に、チームでの学習になります。

テキストを読む ↓

__:__ テキストを読み、「ポスター発表①」の進め方を確認し、「翻訳のコツ」を勉強します。

(25分)

__:__ ポスター作り開始

(50分) チームごとに座り、必要なものを持っていきます。

1) チームとしての発表テーマを自由に決めます。調べをしてきた資料を出し合い、話し合います。

チームで、マインドマップのようにして、紙に興味のあるテーマをどんどん書き出してみましょう。

例)

	食べ物	←	外国人に日本を紹介する	→	見るもの	
	↓				↓	
	日本の国民食 (Japanese National Food)				メイド喫茶 (Maid Café)	

2) 発表テーマから、トピックの分担を決めます

発表テーマが決まったら、一人一人が、細かいトピックを分担しましょう。

例1) Aさん カレーライス ← 日本の国民食 → Bさん ラーメン
Cさん 回転寿司 Dさん 牛丼

例2) Aさん メイド喫茶の歴史 ← メイド喫茶 → Bさん メイド喫茶のシステム
Cさん いろいろなメイド服 Dさん 他のコスプレ系飲食店

※チームメンバーと、その人が担当するトピックを書き入れ、記録しましょう

メンバーの名前	トピック	メンバーの名前	トピック
①		②	
③		④	

3) 発表原稿を作成する

トピックが決まったら、それぞれが発表原稿を英語で書いていきましょう。本時で書き終えることが最終目標です。できなかった人は、家で完成させてきましょう。

※来時に向けて、チームで、具体的に、作業を確認します。発表原稿を書いて、ポスター作成に必要な資料に気づいたりすると思いますので、来時にむけて、準備することを皆と打ち合わせておきます。

メンバーの名前	準備してくること
①	
②	
③	
④	

_____ : _____ ポスター作り終了

(15分) ホームポジションに戻り、チームで選んだテーマや、発表原稿が書けたかどうか等を、近くに座っている人と、話し合います。

振り返りシート記入

_____ : _____ 授業終了 振り返りシートは、ファイルに提出します。

(10分前)

次回準備してくるもの 発表原稿 資料(写真、印刷物、本) のり、はさみ、定規、辞書、過去のテキスト宿題>来時にむけて、準備してくることを決めたチームは、それをやってみましょう。

ポスター発表 (Poster Session)

参照資料：吉原恵子ほか(2011)『スタディスキルズ・トレーニングー大学で学ぶための25のスキルー』実教出版

▼ポスターセッション

ポスターセッションとは、学会などで、研究成果を発表する1つの方法です。たいていの場合、大きな空間で、複数の発表が同時に行われます。壁に、図表、データ、説明文、イラストなどを効果的に使ってまとめたポスター(模造紙大の用紙)を貼ります。そして、発表者はポスターの前に立ち、発表に興味を持って立ち寄る聞き手に対してのみ、聞き手の関心に応じた説明を行います。ポスター発表には2つの要素が含まれ、1つはポスターを作ること、もう1つは、チームの発表内容をまとめた発表原稿を作成することです。

▼ポスター発表の準備

1) 内容を決める

ポスターは視覚的にアピールするように、発表原稿はわかりやすく伝えられるように準備する必要があります。作成に際しては、次のようなポイントを押さえて、取り掛かりましょう。

2) ポスター作成の 10 ポイントを押さえる

ポスターを作成する前に、以下の項目をみて、これらを意識して、ポスターをつくりましょう！作成が終了したら、□にチェックマーク（V）を入れて、ポスターの完成度を確認しましょう！！

◆ポスターの判定基準◆

□	チームの発表テーマが書かれていますか
□	チームメンバー全員の名前が書かれていますか
□	文字の大きさは適当ですか？（離れたところから読めますか）
□	発表内容の項目がすべて盛り込まれていますか
□	項目ごとに「見出し」がありますか？
□	項目ごとの区切れが明確ですか？（内容を詰め込みすぎず、書く内容を工夫しましょう）
□	共通テーマから、それぞれの項目への流れがわかる配置になっていますか？
□	もっとも伝えたい内容が目立っていますか（チーム内で客観的に確認しましょう）
□	表・グラフ・図等を効果的に盛り込んでいますか？
□	全体的にバランスよく、関心を引くポスターに仕上がっているか（強調点がどこかが遠目にもわかりますか、また項目の大きさや、文字の色などにも配慮していますか）

▼ポスター作成の手順


1) ポスターのレイアウトを決める

ポスターには、①テーマ ②チームメンバー、③トピックとその説明、④まとめ、⑤参考文献など発表原稿を理解する助けとなる資料を簡潔な英語、図表、写真などの形で盛り込みます。

◆ポスター例（書けるところはすべて英語でかきましょう）

Aspects of OTAKU Culture

Members: Machi Nonogami, Michi Kitayama, Kana Matugasaki, Arika Kousen

<p>1) OTAKU Culture</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ Moe ▪ Maid Kissa ▪ Cosplay 	<p>3) Meido Kissa</p>
<p>2) Moe</p>	<p>4) Cosplay</p>  <p>References(参考文献) Hector Garcia (2010) A geek in Japan, Tuttle Publishing, pp.92-95.</p>

挿絵や写真の切り貼りなども追加してみましょう。このポスターのレイアウトは一例です。違う形でまとめてもかまいません。たとえば、ポスターは例のように横長でなく、縦長でもかまいません。

2) ポスターをつくる

▼発表原稿

今回はチームで選んだテーマを、チームメンバーで説明します。原稿は全員で分担しながら作成します。発表は全員で行っても、チームの中で発表が得意な人が発表しても、2人1組になって発表してもかまいません。発表は、最初の出だしや最後のまとめも英語で行います。

1) 原稿の組み立て

1. Introduction(はじめに)

「はじめに」では、挨拶、自己紹介をし、これから話すことへ聞き手の興味を引きつけるような一言を入れます。その後、何について話すかを簡単に紹介します。最後に、これからどんな順番で何の話をするのか全体像を紹介します。

2. Body(本論:具体的な内容説明)

「本論」では、「はじめに」で述べた順番に、具体的な内容を伝えます。一般的には、ポイントを2つか3つに絞ることが多く、それぞれのポイントについて詳しく説明します。

3. Conclusion(おわりに)

「おわりに」では、今までの話をまとめ、挨拶をします。最後に、聞き手が自分の話を理解しているかどうかを確認します。

2) 発表内容を伝えるための要件

1. Speech Message:何を話すかについてのポイント

a) わかりやすい英語

1文に辞書が必要な単語は2~3語にとどめます。1文は15語を超えないようにしましょう。

b) 対話

原稿を読んで一方的に話すのではなく、ときどき、聞き手に対する質問などを取り入れ、聞き手の関心をキープできるように工夫しましょう。

c) わかりやすい展開

話の展開は、話したい内容を整理して、時系列(過去→現在→未来)や重要度(低いもの→高いもの)、論理的(原因・理由→結果・対処)など、聞き手が話の流れをすんなり理解できるように工夫しましょう。

d) 興味深い内容

聞き手が聞く気になるような内容構成を考え、興味を引く例やジョークを積極的に取り入れてみましょう。

2. Visual Message:話す内容を視覚的に補助する資料についてのポイント

a) キーワードと数字

b) 列挙:文章で書かず箇条書きで示す

c) 画像:写真やイラスト

d) 図表・グラフ

3. Physical Message:ボディラングージや顔の表情や声の抑揚などを使うポイント

a) 抑揚

私たちは英語を平坦に発音しがちです。日本語と同じように、「伝えたい」と思う部分を中心に、話全体の抑揚(強弱、高低、長短)を考えて話しましょう。

b) アイ・コンタクト

「目は口ほどにものを言う」という通り、視線は重要です。周りにまんべんなく視線を向けるのは理想ですが、難しいうちは、いろいろな方向で目あての人を決め、その人あたりを見るという方法もあります。また、聞き手の目を見ると恥ずかしい場合は、鼻や口元を見ながら話しても同じ効果がえられます。原稿を見るために下を向いている…というのは避けましょう。

c) 手、ポインター(差し棒)

資料があれば、手や棒やレーザーポインターでそれを差し示しながら、説明を行うと聞き手の注意を呼び起こせます。手でジェスチャーを加えながら話すことも効果的です。

d) 姿勢

体は聞き手の方に向けて話しましょう。資料やスライドが後ろにある場合は、そちらに体が向いてしまい、聞き手を背にする事態は避けましょう。

3) 発表原稿の作り方

1. ブレインストーミング

テーマに関することをいろいろ紙に書きだしてアイデアをだします。その後、関連のある事項をグループに分けてまとめてみましょう。

2. 大枠を考える

スピーチは3分(180語程度)~5分(300語程度)です。その中ではじめに、本論、おわりの時間配分を決めましょう。「はじめに」と「おわりに」は30秒(30語)から長くとも1分以内(60語弱)におさめます。2語/秒(ゆっくり派)~2.5語/秒(内容充実派)をもとに割り振られた秒数から語数を算出する。

3. 原稿を書く

4. 資料を作る

資料はスピーチをより理解しやすくするために使用します。今回はポスターにまとめますが、パソコンで発表する場合はマイクロソフト社のPowerPointを使うとよいでしょう。その他、プリントを作成したりすることも含まれます。使用しない場合もあります。

5. 練習をする

授業でスピーチを作る場合、この作業を重要視しない人もいます。しかし、この作業は本番を成功させるためには一番重要な作業といえます。

e) 時間を図る

自分の決めた時間内を有効に使えるよう話すスピードなどを変えて練習します。短すぎても長すぎてもよいスピーチになりません。

f) 聞き手を想定する

可能な限り、誰かの前で練習をしましょう。1人で練習すると、つい原稿を読んだり、早口になったりします。また、視線の練習をするためにも、家族や友達の前で練習しましょう。

g) 原稿を修正する

リハーサルをしてみると、読みにくい箇所や通じにくいと思える箇所が出てくるのが普通です。そのような箇所は自然に発言できる表現に修正しておきましょう。

h) 原稿を暗記する

原稿を手を持ってスピーチするのではなく、できるだけ暗記しましょう。原稿を手を持っていると原稿を読んでしまいがちです。暗記すると、スピーチが自分のことばとして相手に伝わりやすくなるでしょう。

▼発表で使う表現

発表原稿を書いていきます。発表原稿ができたら、だれが発表するか、どの順番で発表するかを決めて、口頭練習をしましょう。

※チーム発表「最初の挨拶」

Good morning, everyone. Let us introduce ourselves. Our team is (). Our team members are (), (), () and (). In our presentation, we are going to tell you about ().

みなさん、おはようございます。私たちの紹介をさせていただきます。チーム名は～で、チームメンバーは……です。私たちの発表では、～についてお話させていただきます。

※発表 挨拶

Do you know ____? / Have you ever heard about [of] ____? / Are you familiar with ____? / Do you know anything about ____? / Are you interested in ____?

Today, I would like to talk about _____. / My topic is _____. / I chose this topic because _____. / _____, so I chose this topic. / The reason why I chose this topic is that _____.

私は、～についてお話しいたします。このトピックを選んだ理由は～です。

※発表 内容

I would like to give you my reasons. / Here are my reasons. / I have three reasons why I think so. / I support the project for the following three reasons. / Let me write down some reasons why _____. / There are three reasons why _____.

では、こちらのポスターをご覧ください。これから、3点について順にお話しさせていただきます。

First / At first / First of all / To begin with / Later / Second/ Secondly / Third / Then / Next / In the end /

Finally /Lastly 第一に、～についてお話しします。・・・第二に、～についてお話しします。・・・

第三に、～についてお話しします。・・・

※チーム発表 まとめ

How do you feel about our opinions (conclusions)? 私達の意見（結論）をどう思われますか。

Have we made ourselves clear? おわかりいただけますか。

And let me say once again. Do not forget that ().

もう一度言わせていただきますが、～を忘れないでください。

On the whole, we can conclude that (). 全体として、～だと言えます。

Generally speaking, we can say (). 全体として () であると言えます。

❖チーム発表「最後の挨拶」

That concludes our presentation. 以上で私たちの発表を終わらせて頂きます。

Thank you very much for listening. ご清聴ありがとうございました。

Now, we would like to respond to any questions or comments you have about our presentations.

それでは、皆様から質問またはコメントを頂戴いたします。

Do you have any questions or comments? 質問またはコメントはございませんか。

翻訳サイトでの翻訳のコツ

<http://www.crosslanguage.co.jp/support/howto/je/top.html>

文法的に正しい英文を作り出す力をつけたい場合、中間表現や辞書を使って、自力で一から英文を作る方法が最も効果的です。オンラインの翻訳サイトは手軽に英文に変換しますが、前期にも触れたとおり、安易に利用すると、意味不明な英文を作りだされるという問題点が、本当にあります。翻訳された英文を自分でチェックして修正しないなら、利用のお勧めはできません。しかし、翻訳サイトの特徴を知り、より文法的に正しい英文を導くコツ、また出来上がった英文をチェックする方法などを知っておくことも、これからは必要かもしれません。

どうしても機械翻訳に頼りたくなったら、次の順にしたがって、より正しい使い方をしてみましょう。

STEP1 機械翻訳の特徴に合わせた日本語を用意する。

翻訳サイトでは、人間ではなく、機械が翻訳しますので、機械が理解できる日本語文を準備します。

(1) 漢字で書く（日本語は同音異義語が多くあります）

漢字 機械は、ひらがなでは、どの言葉にとってよいのか、判断できません。

誤字脱字 機械は誤字脱字を訂正できません。

はやい ⇒ 速い、早い あつい ⇒ 熱い、暑い、厚い

あしたはいのけんさ ⇒ 明日は胃の検査、明日肺の検査

(2) 省略されている語(日本語としてシツコイ感じがしても)を戻す

主語 機械は、主語(ダレガ)が書かれていないと、推測することができません。

おおさかにいきました ⇒ **彼女は**大阪に行きました。

目的語 機械は目的語(ナニヲ、ダレヲ)が書かれていないと、推測することができません。

助詞 機械は、助詞(テニオハ)が無いと、文として理解できません。

きのう、かいもの、いった。 ⇒ 私は、昨日、買い物に行きました。

省略語 機械は、省略されている言葉を、推測することができません。

バレー ⇒ バレーボール スケート ⇒ ローラースケート

ダム ⇒ 京都ノートルダム女子大学

複合名詞 機械にとって難しい言葉になるので、分解します。

生活応援雑誌 ⇒ 生活を応援する雑誌 まじめ人間 ⇒ 真面目な人

(3) できるだけ、英語になりやすい文にする。

短い文 ダレガ、ナニヲ、ドウスル的構造を持つ、短い日本語文を用意します。

1文を長くするよりは、短い文を接続詞でつなぎます。

無生物主語を使う 英文直訳風の日本語を書くイメージです。

コーヒーを飲むと、頭が起きてくる ⇒ 1杯のコーヒーが、私を起こす

❖ 「～によって」は、無生物主語文にすることができます。

明確な意味を持つ動詞を使う 曖昧な動詞(～になる、～にする、～を行う)は避け、具体的に表す

STEP2 翻訳サイトに、準備のできた日本語文を入力して、翻訳する。

どのサイトでも良いですが、評判の良いサイトを探しておきましょう。

EX: Yahoo 翻訳、Google 翻訳 Line 翻訳… (ほかにもたくさんあります。)

STEP3 翻訳の見直しをして完成

見直しは、絶対に必要です。

◆**逆引き** 翻訳された英文をもう一度(同じサイトを使って)日本語に訳してみる

◆**他のサイトでチェック** 複数のサイトに、同じ日本語文を入力して、訳してみます。

違う英文、英語表現が出たら、どちらが良いか考えましょう。

◆**自分でチェック**

名詞の単・複数を見直す＝日本語は数を言わないので、ここで確認します。

This order moved an employee. → This order moved the employees.

冠詞(特に定冠詞)や代名詞を補う

時制の確認

前置詞を見直す

同音異義語が間違っていて訳されていないか確認する

もっと良い表現がないか、じっくり検討して、完成です。

発表原稿

※発表項目の原稿を作成しましょう。発表までの3週間間に、必ず声に出して原稿を読む練習をしましょう。

タイトル: _____

 Notes

※チームメンバーの名前と、連絡先(メールアドレス、携帯番号など)を、念のためにメモしておきましょう。
また、ポスターのレイアウトや作業分担など、特に自分が担当する内容を詳しくメモして帰きましょう。

Lesson 10

ポスター発表②

月 日

前期学習目標	プロジェクトの学習目標	本時の学習目標
正しい英文を意識して、1つのテーマについてできるだけ多く長い英文を書けるように、クラスメイトと協力しながら、自分で楽しみながら学習する。	チームで1つのテーマを選んで、1枚のポスターにまとめ、発表することができる。	チームメイトと力を合わせてポスター発表の準備ができる。 ①テーマに沿ったポスターと原稿を完成する。 ②文法6を自分でまとめなおす。 ③文法6の知識を活かして、ポスターか原稿の中で使う。 英文のつなぎ方(Forest 590~609)

◆この授業から始まるプロジェクトを知りましょう。

4つめのプロジェクト「ポスター発表②」(L10)は、この後「ポスター発表」(L11) + 「英作文」(L12)と続きます。一体となってプロジェクトを行うチームの力、また、チームの中で活躍できることをみつけて分担する個人の力を体験します。L10ではポスターを完成させ、発表の練習をします。次回L11でポスター発表を行い、L12で発表内容についての英作文を書きます。

PBL4 (チーム活動)



「ポスター発表」L8~L10の3回はチーム活動ですので、全出席が求められます。1回でも休むと、L11で獲得する点数が減点されます。

本日の教材

テキスト 振り返り用紙 模造紙(788×1091mm) 辞書 参考書 過去のテキスト

ポスター作成に必要なと思われるもの(マーカー、のり、はさみ、定規) 資料(写真、印刷物、本)

学習の流れ

クラス共通のテーマ: 「日本を紹介して外国から観光客を誘致する」

- 概要 (1)ポスターを英語で作成する
 (2)声に出して発表練習をする ※最初と最後の挨拶も英語でしましょう。

◆時間を有効に使えるように、スケジュールを確認して、時刻を書き込み、計画的に進めます。

__:__ 授業スタート

(20分) ホームポジションに着席。席に着く際に、配布資料とファイルを各自持って行きます。
 本時は、基本的に、チームでの学習になります。

テキストを読む ↓

「ポスター発表②」の進め方を確認し、文法6を勉強します。

__:__ ポスター作り開始

(45分) チームごとに座り、模造紙、カラーペンなど、必要なものを持っていきます。

◎前回のテキストの「ポスター発表の準備」をみて、ポスターを作成します。

◆ポスターの判定基準◆10ポイントを押さえて、完璧なポスターを作成しましょう。できたら☑を入れます。

	発表テーマが書かれていますか
	メンバー全員の名前が書かれていますか
	文字の大きさは適当ですか？（離れたところから読めますか）
	発表内容の項目がすべて盛り込まれていますか
	項目ごとに、きちんと「見出し」がつけてありますか？
	項目ごとの区切れが明確ですか？（内容を詰め込みすぎず、書く内容を工夫しましょう）
	チームの発表テーマから、各トピック項目への流れがわかる配置になっていますか？
	もっとも伝えたい内容が目立っていますか（チーム内で客観的に確認しましょう）
	表・グラフ・図等を効果的に盛り込んでいますか？（挿絵や写真の切り貼りもOKです）
	全体的にバランスよく、関心を引くポスターに仕上がっていますか（強調したい箇所が遠くからわかりますか、また項目の大きさや、文字の色などにも配慮していますか）

__:__ ポスター仕上がり

(15分) どの順番で、どう発表するかを決めて、プレゼンの練習をしましょう。

◎次の2つのポイントを押さえて完璧な発表を目指しましょう。またチーム全体で5分位が目標です。

1) 発表内容: 言葉で、うまくメッセージを伝えましょう。できたら☑を入れます。

	1文は15語を超えないようにします
	辞書が必要な語は、1文につき1~2語、多くても3語にとどめます
	ときどき、聴き手に対する質問を取り入れます（聞き手に語りかけましょう）
	わかりやすい展開にします（時系列、重要度、論理的のいずれか→先週のテキスト）
	興味を引く内容にしましょう（面白い具体例、役立つ情報、ジョークなどを入れます）
	翻訳サイトを使った人→[逆引き・他のサイトでチェック・自分でチェック]をしました

◎チームとして発表原稿を整えましょう。最初と最後には挨拶をします。

✿最初の挨拶 Good morning, everyone. Let us introduce ourselves. Our team is (). Our team members are (), (), () and (). In our presentation, we are going to tell you about ().

✿メンバー発表 (×人数) Do you know__? Today, I would like to talk about___. My topic is___. There are three points. First, ____. Second, ____. In the end,____. Do you have questions?

✿発表まとめ How do you feel about our presentation? Generally speaking, we can say ().

✿最後の挨拶 Thank you very much for listening. Do you have any questions or comments?

2) 発表のテクニック: 身体や声で、うまくメッセージを伝える:

	抑揚（強弱、高低、長短）をつける（英語の棒読みは避けましょう）
	話すスピードと、時間配分に気をつける
	手や棒でポスターを指し、ジェスチャー交えて、表情豊かに説明する
	体は聞き手の方に向ける
	顔を上げて、周りに視線を向け、アイ・コンタクトをとる（原稿だけを見ないように）
	発表後、質問やコメントがないか確認して、あればわかる範囲で丁寧に答える

__:__ ポスター作り終了

(10 分) ホームポジションに戻り、ポスターが完成したかどうか、発表練習がどうなったか等を、近くに座っている人と、話し合います。

振り返りシート記入

__:__ 授業終了 振り返りシートは、ファイルに提出します。

(10 分前)

次回準備してくるもの 完成したポスター、発表原稿、ポスター発表に必要なと思われる物、辞書
宿題>来時にむけて、準備してくることがあるチームは、↓確認をして、やってきましょう。

※来時まで、誰が何をしてくるのいいですか。

メンバーの名前	準備してくること
①	
②	
③	
④	

Lesson **11**

ポスター発表③

月 日

前期の学習目標	プロジェクトの学習目標	本時の学習目標
正しい英文を意識して、1つのテーマについてできるだけ多く長い英文を書けるように、クラスメイトと協力しながら、自分で楽しみながら学習する。	チームで1つのテーマを選んで、1枚のポスターにまとめ、発表することができる。	チームメイトと力を合わせてポスター発表を行う。ポスター発表を聞いて判断する。 ①チームで分担通りに、ポスターを用いて発表する。 ②他チームのポスター発表を聞いて、判定基準を用いてそれを判定する。 ③他チームのポスターを見て、判定基準を用いてそれを判定する。

◆この授業から始まるプロジェクトを知りましょう。

4つめのプロジェクトは、「ポスター発表」(L11)のあと、「英作文」(L12)で完結します。これまで、一体となってプロジェクトを行うチームの力、また、チームの中で活躍できることをみつけて分担する個人の力を体験してきましたが、本時の「ポスター発表」は、その集大成です。

本時は、これまでのチーム活動の成果を発揮しましょう。オーディエンス(聞いている人)を意識しながら、よりよい発表を行います。来時L12には、個人で、発表内容についての英作文を書きます。

PBL4 (チーム活動)

L11 月 日

Poster Session

ポスター発表③

判定 4 回目

Presentation (2点)



L12 月 日

Writing about Your Topic

英作文

判定 5 回目 Writing 4 (3点)

パラグラフの構成1: タイトルをつける

パラグラフの構成2: パラグラフの形式

「ポスター発表①②③」L9, 10, 11の3回はチーム活動ですので、全出席が求められていました。1回でも休んだ人は、本時で獲得する加点2点が1点になります。

本日の教材

テキスト 振り返り用紙 完成したポスター 発表原稿 辞書 過去のテキスト

ポスター発表に必要なと思われるもの(さし棒、衣装など自由) (メンディングテープ) **付箋 3枚**

学習の流れ

準備 発表手順の最終確認を確認しましょう。

概要

- (1) ポスターを設置して、発表できるように準備を行う
- (2) ポスター発表を行う(発表時間は各チーム5分です。)
- (3) ポスター発表の判定を行う

◆時間を有効に使えるように、スケジュールを確認して、時刻を書き込み、計画的に進めます。

___:___ 授業スタート

- (10分) ホームポジションに着席。席に着く際に、配布資料とファイルを各自持って行きます。
本時は、基本的に、チームでの学習になります。

テキストを読む ↓

テキストを読んで、「ポスター発表」の進め方を確認します。

___:___ ポスター準備スタート

- (5分) チームごとに集まり、ポスターを決められた場所に設置して、机を移動して、発表準備を行います。
(次のページにある「**判定基準**」をみて、発表の心得を復習)

___:___ ポスター発表スタート

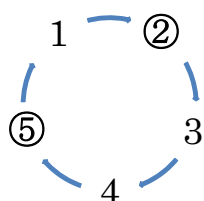
- (55分) グループ分けの手順に従って、交替して発表を行います。
発表しない時間は、聞き手(オーディエンス)として参加します。

◎発表者としての参加:

Lesson10のテキストを読み、発表の心得を復習して臨みましょう。終わったら、自己採点します。
判定基準は次のページにあります。自己採点した得点は、「振り返りシート」に記録します。

◎聞き手(オーディエンス)としての参加:

自分のチームの両隣にポスターを設置しているチームの発表は必ず聞きに行きましょう。
例えば、下の図で、2班の両隣なら1班と3班、5班の両隣は4班と1班になりますね。



両隣のチーム以外は、可能な範囲で、自分の興味のあるところに移動して、聞きに行きます。
聞きに行ったら、その発表を、自己採点と同様に、判定して、「振り返りシート」に記録します。

◎**ポスターエキシビジョン** 発表が全て終わったら、ポスターのみを判定します。

- ①自由にポスターを見て回ります。 *付箋には予め学生番号を書いておきます。
- ②発表を聞けなかったポスターも、すべて目を通します。
- ③自分のグループ以外で、1位から3位のポスターを選びましょう。

(自分のグループのポスターを選んではいけません。)

- ④1位から3位のポスターに、付箋を貼っていきます。
- ⑤最後に、自分たちのポスターに貼られた付箋を、以下の数値に計算して、得点として、振り返りシートに記入しましょう。

1位…青い付箋 → 3点に換算
2位…ピンク → 2点に換算
3位…黄色 → 1点に換算

___:___ 後片付け

(5分) ポスターを外して、机を戻します。

___:___ ポスター発表終了

(15分) ホームポジションに戻り、振り返りシート記入
振り返りシートを見ながら、ポスター発表の感想を近くに座っている人と、話します。

___:___ 授業終了 振り返りシートは、ファイルに提出します。

次回準備してくるもの 辞書 参考書 発表原稿 発表に用いた資料 過去のテキスト
その他の英作文を書くのに必要だと思われるもの
宿題>L12の「英作文を書く際の注意」を読んで、次週にむけて、英作文を書く準備をしましょう。

次週、判定5回目 Writing4「英作文」の判定基準
英語の発表原稿を見ないで書いた 3点 発表原稿を見て書いた 2点・ 未完成 1点・ 未提出 0点
◎Additional Points: 150語以上あった(+1点)

ポスター発表の判定基準

▼ポスター発表の自己判定と、発表を聞いたチームを判定する際には、以下の判定基準を用いて、4点から15点の範囲で得点をつけます。

チーム番号()	発表テーマ()	得点
A 内容点	選ばれたテーマが面白く、内容に関してわかりやすい説明だった ◎(大変良い 5), ○(良い 4), △(普通 3), ∴(もう少し 2)	
B ポスター点	重要事項が見やすく、視覚的效果(図表、イラスト)に富むポスターだった ◎(大変良い 5), ○(良い 4), △(普通 3), ∴(もう少し 2)	
C 発表点	顔を上げ、体も聴き手に向き、大きい声が出ており、表現豊かな発表だった。 ◎全員できた 5点, △できなかった人もいた 3 ∴:できた人はいなかった 0点	
	合計点(4点~15点)	

▼ポスター発表

今回のポスター発表では、複数のポスター発表を同時に行いません。自分たちの完成したポスターを壁に貼ったら、遠くから眺めてみて、わかりやすくまとまっているかどうかを確認してみましょう。

▼発表者と聞き手

1) 発表者 身体や声を用いて、上手にメッセージを伝えます。できたと思ったら☑を入れます。

	抑揚（強弱、高低、長短）をつける（英語の棒読みは避けましょう）
	話すスピードと、時間配分に気をつける
	手や棒でポスターを指し、ジェスチャー交えて、表情豊かに説明する
	体は聞き手の方に向ける
	顔を上げて、周りに視線を向け、アイ・コンタクトをとる（原稿だけを見ないように）
	発表後、質問やコメントがないか確認して、あればわかる範囲で丁寧に答える

2) 聞き手 発表がうまくいくためには、優秀な聞き手が必要です。できたと思ったら☑を入れます。

	発表内容と無関係なおしゃべりをしないようにします
	話を聞いていることを伝えるために、顔をあげて、発表者と視線を合わせましょう
	うなずいたり、質問をしたりしながら、発表を聞きます
	発表が終わったら、質問をしたり、コメントをしたりします（簡単な質問で構いません）

❁質問やコメントがないと、「発表が面白くなかった」という意味になります



Notes

※気づいたことがあれば、メモしておきましょう

前期の学習目標	プロジェクトの学習目標	本時の学習目標
正しい英文を意識して、1つのテーマについてできるだけ多く長い英文を書けるように、クラスメイトと協力しながら、自分で楽しみながら学習する。	チームで1つのテーマを選んで、1枚のポスターにまとめ、発表する。	ポスター発表の内容を整理して英作文として書き直す。 ①ポスター発表で担当したトピックに関して、発表原稿を見ないで、英語で書く。 ②パラグラフの形式を守って英作文を書く。 パラグラフの構成1: タイトルをつける パラグラフの構成2: パラグラフの形式

◆この授業から始まるプロジェクトを知りましょう。

4つめのプロジェクト「ポスター発表①②③」(L9, 10, 11)は、「英作文」(L12)で完結します。個人として調べる、チームとしてまとめる、ポスターをつくる、英語で発表をする、という経験を通して、自分が担当したトピックについて、知識や理解がかなり深まったと思います。ここで、個人で、発表内容についての英作文を書きます。また、次の「まとめの英作文」の前段階として、タイトルやパラグラフ(段落)の書き方についても学びます。

PBL4 (チーム活動)

L12 月 日

Writing about Your Topic

英作文

判定5回目 Writing 4 (3点)

構成1: タイトルをつける

構成2: パラグラフの形式



L12で、英作文が完成すれば最大3点、未完成であれば1点が加点されます。

本日の教材

テキスト 振り返り用紙 発表トピックに関する資料 辞書 参考書 過去のテキスト (発表原稿)

学習の流れ

準備 発表手順の最終確認を確認しましょう。

概要 ポスター発表で担当したトピックに関する英作文を書きます。

◆時間を有効に使えるように、スケジュールを確認して、時刻を書き込み、計画的に進めます。

__:__ 授業スタート ホームポジションに着席。席に着く際に、配布資料とファイルを各自持って行きます。
(10分) 本時は、基本的に、ホームポジションでの学習になります。

テキストを読む ↓

テキストを読んで、「英作文」の進め方を確認します。

__:__ 英作文 スタート

(60分) 個人で発表内容を振り返りながら、100~150語を目標に、英作文を仕上げます。
(今回の英作文とは、発表原稿そのままを写すのではなく、発表原稿を見ないで、それぞれが発表したトピックを、英作文としてまとめ直して書くことを意味します。)

- 1) 「英作文を書く際の注意点」を読んでから、下書きを何度も見直しましょう。
- 2) ライティングシートに、パラグラフの構成 1&2 を守って、英作文を書きます。
- 3) 英作文の上右部にある点数欄から自分の点数を選んで○で囲みましょう。
- 4) 追加点がある場合は英作文下欄の□にチェック(V)を入れましょう。

__:__ 英作文 終了

(10分) 英作文を書いてみた感想を近くに座っている人と、話します。

振り返りシート記入

__:__ 授業終了 振り返りシートは、ファイルに提出します。

(10分前)

次回の授業に準備してくるもの 英作文を書くのに必要と思われる資料 過去のテキスト 辞書 参考書
宿題>次週にむけて、「はじめに」およびその時書いた振り返りシートを見直して自由英作文で何を書くのか
考えて、必要な資料があれば、それも準備してきましょう。

英作文を書く際の注意点

▼この英作文の判定基準

英語の発表原稿を見ないで書いた 3点 発表原稿を見て書いた 2点・ 未完成 1点・ 未提出 0点
◎Additional Points: □ 150語以上あった(+1点)

▼他にも、以下のようなことに注意して、書き進めてみましょう。

- (1) 内容: 伝えたいトピックについて、発表した時の経験を活かし、わかりやすく、くわしく書こう。
- (2) 量: できれば、100ワード以上は書こう(コンマ、ピリオドは含まずに)
- (3) 文法: 文法ノートやテキストを見て文法を復習して、文法的にも正しい英文を書こう。
- (4) 翻訳機: インターネットの翻訳サイトを使う場合は、3つのことに注意しよう。
①複数のサイトを使って比べる ②逆引きをして確認する ③自分でもチェックする
- (5) 形式: パラグラフの構成1&2を読んで、タイトルを含めたパラグラフの形を整えよう。

Lesson 13

まとめの英作文①

月 日

前期の学習目標	プロジェクトの学習目標	本時の学習目標
正しい英文を意識して、1つのテーマについて、できるだけ多く長い英文を書けるように、クラスメイトと協力しながら、自分で楽しみながら学習する。	正しい英文を意識して、1つのテーマについて、できるだけ多く長い英文を書けるように、クラスメイトと協力しながら、自分で楽しみながら学習する。	トピックを決めて、「まとめの英作文」の下書きを完成させる。 ①作成した英文の中の習った英文法と中間表現を指摘できる。 ②パラグラフの構成をまとめなおす。 ③下書きした英作文を使って、パラグラフの構成を説明する。 パラグラフの構成 3： パラグラフの構成要素

◆この授業から始まるプロジェクトを知りましょう。

本時より、最後のプロジェクト「まとめの英作文」(L13, L14)が始まります。日にちを書いておきましょう。

PBL5

L13 月 日

まとめの英作文①

構成 3：パラグラフの構成要素
文法の総復習 動詞の形を確認
(Forest 610~615)



L14 月 日

まとめの英作文②

判定 6 回目 Writing 5
(自己判定 15 点)

前期の最終課題となる「まとめの英作文」のトピックは自由です。例えば、「親友 (My Best Friend)」や、「好きな芸能人 (My Favorite Stars)」、また「夢 (My Dream)」など、自由なテーマで書きましょう。そして、英作文を書く際には、これまでに学んだ英文法を総復習して、文法的に正しい英文を書くことを心がけましょう。文法 1~6 とパラグラフの構成 1, 2 はすでに学んでいますね。そして、本時では、新しくパラグラフの構成 3 を学び、形 (見かけ) だけではなく、構造 (中身=内容) 的にもパラグラフを整えます。ここで学んだ知識を英作文に生かすことができれば、前期の学習目標に照らし合わせて、自分の知識が深まったことも実感できるでしょう。そして、それが最高の評価につながります。

まずは、トピックを決めてから、最初のプロジェクトで使ったマインドマップを用いて具体的な内容を考えます。何を、どのようにまとめていきますか。どのように表現すれば、相手に言いたいことが伝わるでしょうか。全体の構想が出来上がったら、それをわかりやすい日本語でまとめ、中間表現を使いながら、文法的に正しい英文を下書き用紙 (Draft Sheet) に書いていきましょう。

英文を書く際には、判定基準をみて、注意すべき点を意識しましょう。もともと、L1 では、どのく

らの評価を目指していませんか。最終的に、まとめの英作文で、何ポイントを獲得すれば、目標に達しますか。このように、目標を決めて、課題にとりくみましょう。 (「学習成果の判定」参照)

■ 本日の教材

自分が書きたい内容に関する資料 テキスト 振り返りシート 下書き用紙 辞書 参考書

■ 学習の流れ

準備 英作文のテーマを考えておきましょう。

概要 (1)何について書きたいか、一度、紙に全部書き出してみましょう。(参考: マインドマップ)
 (2)構成3を読んで、内容構成について学びます。
 (3)これまでに学んだ知識を活かして、下書きを完成させます。

◆授業時間を有効に使えるように、スケジュールをたてて、計画的に進めます。

__:__ 授業スタート

(15分) ホームポジションに着席します。席に着く際に、配布資料およびファイルを各自持って行って下さい。
 テキストを読む ↓

テキストを読んで「まとめの英作文①」の進め方を理解し、[パラグラフの構成3]を勉強します。

__:__ 計画

(15分) 「まとめの英作文」(L13,L14)の2回分の計画をたてます。

たとえば、どんなことをするの?  **これが必要だと思うものを○で囲みましょう!**

トピックの設定 資料を集める 目標点の設定 辞書を使う 参考書を使う 文法や形式の勉強をする
 とにかく英語を書く 内容の充実を図る マインドマップ 単語の綴りを確認する 文法的に合っているかどうかを
 確認する 下書きを完成 清書する 語数を数える Draft-Sheet に下書きをどんどん書いていく
 友達に読んでもらう

計画を立て、手順を踏んで英作文を仕上げることができれば、最高の評価につながります。

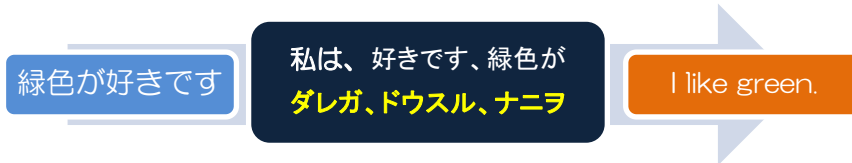
日程	活動 (何をしますか? 具体的に書いて、書いた内容を意識して、それを実行しましょう。)
L13 (月 日)	
L14 (月 日)	

10分前には「まとめの英作文」を提出する予定で、計画を進めましょう

：___ 書き始める

(40 分) 判定基準と目標を確認します。内容構成が決まれば、[文法1~6]を総復習しながら、特に、動詞の形に注意して、英作文を書き進めます。そして、用意してきた資料を使って、英語でわかりやすく表現します。下書きが書き終われば、最後に、[文法1]をみながら、英文の単語の並び方を、確認しましょう。

●中間表現を通して、主語「ダレガ」と動詞「ドウスル」が入った正しい英文を作りましたか。



こうして、文法的に正しい英文が書けていることが判断できたら、下書きの完成です。

：___ 振り返りシート記入 ホームポジションに戻って記入します。

(10 分)

：___ 振り返りシートをファイルの中に提出して終了

(10 分前)

次回の授業に準備してくるもの 英作文の下書き テキスト 資料(英作文を書くのに必要なもの)
辞書 参考書 文法ノート わたしの単語帳

宿題> 予めチェックリストで下書きを確認し、必要な調査や資料を準備をしましょう。

「まとめの英作文」判定基準をもう一度確認しましょう

以下の判定基準は、「はじめに」で提示した基準です。L1 の振り返りシートを見て、どのレベルを目標にしていたかを確認してから、今の自分が目指すレベルを決めましょう。

内容	伝えたい内容が十分伝わって、読み応えがあり、読むと人に伝えたいくなる。	5 点
	伝えたい内容がある程度伝わり、読み応えがあると感じられる。	4 点
	伝えたい内容が少し伝わるが、物足りないと感じられる。	3 点
	伝えたい内容が、何となくはわかるが、あまり伝わっていない。	2 点
	伝えたい内容がよくわからない。読み応えがない。	1 点
文法	すべての英文は文法的に完璧だという自信がある。単語と文の種類が豊富である。	5 点
	ほとんどの英文は文法的に正しいという自信がある。 同じ単語の繰り返しは少なく、文の種類は 3 種類以上ある。	4 点
	英文については、少し自信がある。 同じ単語を繰り返して使ったが、文の種類は 3 種類以上ある。	3 点
	英文については、あまり自信がない。同じ単語を何度も繰り返して使った。	2 点
	英文については自信がない。固有名詞が多い。	1 点
加点 1	150words 以上書いた。(タイトルと本文の英単語のみで、コンマやピリオドは含みません)	3 点
加点 2	「パラグラフの形式」に従って書けた。(タイトル・字下げ・句読点・改行に関するきまり)	2 点



よりよいパラグラフを書くためのチェックリスト	YES	NO
1. 単語の綴りを、辞書で確認しましたか。 ・わかっていると思っていても、辞書で確認しましょう。		
2. 主語が1なのに、動詞に s/es をつけていませんか。 ・意外と、いらなのに s をつけています。		
3. 過去の出来事なのに、動詞は現在形を使っていませんか。 ・振り返りシート of 英文欄には、これが多くみられます。		
4. 普通名詞が単数なのに無冠詞になっていませんか。 ・普通名詞 (数えられる名詞) には a/an を前につけます。		
5. 「中間表現」に照らし合わせて、語順に間違いがないですか。 ・ダレガードウスルーナニヲ の語順で書きます。 ・ダレガー ダ (be) ードンナの語順もあります。		
6. be 動詞は、主語に合った形を選んでいますか。 ・主語が複数—現在 are, 過去 were ・主語が単数—現在 am, is 過去 are		
7. 接続詞を使って、長い英文が書けましたか。 ・不適切な場所に、接続詞をむやみに入れていませんか。		
8. 前置詞を使って、時や場所の表現を入れましたか。 ・目的語に合う前置詞を使うことができますか。		
9. タイトルは、各語の最初の文字を大文字にして書きましたか。		
10. パラグラフの最初は字下げをしましたか。		
11. 英文は全て大文字で始まり、ピリオドで終わっていますか。		
12. 文は、スペースを1つつけて、つなげて書いていますか。 ・文頭をそろえた箇条書きのような書き方になっていませんか。		
13. 伝えたいテーマは、最初の文に書きましたか・・・主題文		
14. その最初にあげたテーマについて、具体的に説明が書けましたか。 ・・・支持文		
15. その指示文は、最高の順番で書きましたか。 ・順番を入れ替えて良くなるようなら、変えてみましょう。		
16. 伝えたいテーマについて、最後に、再びまとめていますか。 ・・・結論文		



2014 年前期	PBL5	14 回目
Lesson 14	まとめの英作文②	月 日

前期の学習目標	プロジェクトの学習目標	本時の学習目標
正しい英文を意識して、1つのテーマについてできるだけ多く長い英文を書けるように、クラスメイトと協力しながら、自分で楽しみながら学習する。	正しい英文を意識して、1つのテーマについて、できるだけ多く長い英文を書けるように、クラスメイトと協力しながら、自分で楽しみながら学習する。	[まとめの英作文]を提出する。 ①チェックリスト(L13)を使って下書きを確認する。 ②まとめの英作文を清書する。 ③判定基準(L13)を用いて、英作文を自己判定する ④作品をシェアする

◆この授業から始まるプロジェクトを知りましょう。

本時は最後のプロジェクト「まとめの英作文」(L13, L14)の締めくくりにあたります。完成した英作文が、前期に獲得した英語の知識と技術の集大成となります。

では、まず日にちを書き込みましょう。

PBL5

L14 月 日
 まとめ英作文②
判定6回目 Writing 5 (15点)
 (最低 100 words 以上)



前回は、あらかじめ調査した内容や、準備した資料を用いて、「まとめの英作文」の英文の下書きを下書き用紙(Draft-Sheet)に完成させました。今日は、前期の最終成果となる「まとめの英作文」を完成させます。前回の下書き用紙に書いた英作文を読み返し、語彙、表現や内容を、チェックリスト(L13)を用いて注意深く確認して、提出用紙(Writing-Sheet)に英文を清書していきます。書きあがったら、判定基準(L13)を見て、自分で判定をしましょう。そして、最後に、英作文を提出します。

では、自分でたてた計画表に従って、本時の活動を始めましょう。

本日の教材

英作文の下書き ライティングシート テキスト 資料 辞書 参考書 文法ノート わたしの単語帳

学習の流れ

準備 L13で書いた下書きの完成版、辞書や参考書などを用意します。

概要 (1)これまでに学んだ内容を活かして、最終課題の英作文を書きます。
(2)英作文を完成させ、自己判定をします。

◆授業時間を有効に使えるように、スケジュールをたてて、計画的に進めます。

__:__ 授業スタート

(15分) ホームポジションに着席します。席に着く際に、配布資料およびファイルを各自持って行って下さい。
テキストを読む ↓

テキスト「まとめの英作文②」を読んで、本時の進め方を理解します。

__:__ 書き始める

(45分) 下書きを読み返して、L13のチェックシートを用いて語彙や表現をチェックしながら、
提出用の Writing-Sheet に清書します。

書きあがれば、「まとめの英作文」の判定基準に従って、判定します。

__:__ 書きあがった英作文を、周りの人たちと、読みあって、内容をシェアします

(10分)

__:__ 振り返りシート記入 ホームポジションに戻って記入します。

(10分)

__:__ 振り返りシートとライティングシートを提出して終了

(10分前)

次回の授業に準備してくるもの テキストと成績計算の為に必要な書類(振り返りシート14枚、
ライティングシート5枚、文法ノート、わたしの単語帳)

■来週は、いよいよ「前期振り返り」です。欠席すると17点の減点になります。

Lesson 15

前期振り返り

月 日

ライティング授業の学習目標	前期学習目標	本時の学習目標
クラスメイトと協力しながら、言いたいことを、英語で楽しく相手に伝えられるように、自分から進んで学習できるようになる	正しい英文を意識して、1つのテーマについてできるだけ多く長い英文を書けるように、クラスメイトと協力しながら、自分で楽しみながら学習する。	前期授業を振り返り、後期の学習目標を見つける。 ①前期授業の成績を自分で計算する。 ②振り返りシートを読み返して、自分にとって、どんな学習成果があったかを説明する。

◆この授業の学習目標を知りましょう。

本時は最後の授業プロジェクト「前期振り返り」(L15)です。日にちを書き込みましょう。

L15 月 日

前期振り返り

振り返りの判定 Review(5点)



前期の授業では、オーケストラとして音を合わせる（協力する）前に、各自が曲のレパートリーを増やす（いろいろな話題について多く、長い英文を書けるようにする）とともに、曲を演奏するための（英文を書いたための）技術となる[英文法]と[パラグラフの構成]の習得を目指せるよう、プロジェクトが配置されていました。その中で、みなさんは、自分で具体的な目標成績を決めて、その目標を達成できるように、英語の勉強を続けてきたのです。最後の授業では、これまで続けてきた学習を振り返ります。

本日の教材

テキスト 振り返りシート 成績計算に必要な書類（振り返りシート 14 枚、ライティングシート 5 枚、文法ノート、わたしの単語帳など） 計算機（必要であれば）

学習の流れ

準備 前期の成績計算に必要な書類（振り返りシート、ライティングシートなど）を用意します。

概要

- (1) 前期の採点をして、成績は振り返りシートに記録します。
- (2) 前期の授業を振り返ります。
- (3) 自己採点に誤りがないかどうか、プリアビュー（クラスメイトと確認）しあいます。

◆授業時間を有効に使えるように、スケジュールをたてて、計画的に進めます。

___:___ 授業スタート

(15分) ホームポジションに着席します。席に着く際に、配布資料およびファイルを各自持って行って下さい。テキストを読む ↓

テキストを読み、「前期振り返り」の進め方を理解します。

___:___ 前期成績を自分で計算します。

(20分) 「学習成果を判定しよう」を読んで自分の獲得した点数を計算します。

目標点を見直します(L1)。次に、ファイルの中の振り返りシート、Writing Sheetの点数を見ながら、振り返りシート(L15)に記録しましょう。すべて記入が終われば、自分の成績を自己計算します。

___:___ 前期授業の振り返りをします。

(20分) 振り返りシートの「前期振り返り」の欄に、前期授業全体を思い出して、振り返ってみましょう。

___:___ ①自己採点に必要な提出書類一式がそろっているか、②振り返りシート(L15)に写し間違いがないか

(20分) ③振り返りシートの点数計算に誤りがないかどうかを、ホームポジション前後の人と確認しましょう。①～③に間違いがなければ、確認した人は、提出シートに署名をしましょう。

※確認した人は加点(3点)されます。確認をした人が署名後、計算ミスや提出書類に不備が見つかった場合、双方の自己採点から減点(5点)されます。また、確認を受けていない人は単独で減点(10点)されます。

___:___ 振り返りシート記入 ホームポジションに戻って、続きで本時の振り返りをします。

(5分)

___:___ 振り返りシートを、ファイルの中に提出したら、前期の授業は終了します。 * * * * *

学習成果を判定しよう

「はじめに」の「学習成果の判定」参照

L1で自分の目指した点数を振り返ってください。どのレベルの評価を目指していましたか？そのために、何を、どのように勉強してきましたか？次に、ファイルの中の振り返りシート、ライティングシートなどでつけた点数を正確に以下のシート、および、L15の振り返りシートに書き写します。書き写した点数をもとに自己計算します。単位取得のための最低点は60点でした。次に、前期授業全体を振り返りましょう。

※参考：成績表の評価：優(80点以上)、良(70点以上)、可(60点以上)、不可(60点未満)

以下の表を用いて自己採点しましょう。計算結果は「成績」として振り返りシートに書いて、提出します。

◆学習成果の判定◆

①授業参加点 振り返りシートが あるものには、L1 など番号に○をつ けましょう。	L1 (2 ・ 1 ・ 0)	L9 (2 ・ 1 ・ 0)	2点×() = 1点×() = 計(/30)点
	L2 (2 ・ 1 ・ 0)	L10 (2 ・ 1 ・ 0)	
	L3 (2 ・ 1 ・ 0)	L11 (2 ・ 1 ・ 0)	
	L4 (2 ・ 1 ・ 0)	L12 (2 ・ 1 ・ 0)	
	L5 (2 ・ 1 ・ 0)	L13 (2 ・ 1 ・ 0)	
	L6 (2 ・ 1 ・ 0)	L14 (2 ・ 1 ・ 0)	
	L7 (2 ・ 1 ・ 0)	L15 (2 ・ 1 ・ 0)	
	L8 (2 ・ 1 ・ 0)		

②判定 Writing Sheet が あるものには、L3 など番号に○を つけましょう。	L3「自分を表現する」	(/2) 点	1点× () =
	L5「4コマ・ストーリー」	(/2) 点	2点× () =
	L8「翻訳絵本」	(/2) 点	3点× () =
	L11「Presentation (発表)」	(/2) 点	
	L12「英作文」	(/3) 点	計 (/11) 点
③まとめの 英作文	L14 タイトル「 内容点(/5)点 加点1 (/3)点 文法点(/5)点 加点2 (/2)点		(/15) 点
④前期振り返り	L15 (5 ・ 0)		(/5) 点
⑤自己採点の ピアレビュー	ア.()さんの自己採点を確認しました(3 ・ -5) イ.ピアレビュー(交代して確認)を受けませんでした。(-10)		ア or イ(←1つに○) ()点
⑥文法ノート	5レッスン1点×()セット		(/3) 点
⑦わたしの 単語帳	5レッスン1点×()セット		(/3) 点
		A 小計	(/70) 点
B その他加点 (あれば)			() 点
		前期自己採点合計 (A+B)	() 点

◎これに、教師による「まとめの英作文」査定最大 15 点が別に加算されます。

振り返りとは

まず、L0「はじめに」の中の、「振り返りシート」という項を読み返してみよう。

次に、自分の目標と、その理由を思い出して、この授業の通年の学習目標「クラスメイトと協力しながら、言いたいことを、英語で楽しく相手に伝えられるように、自分から進んで学習できるようになる」と、前期の学習目標「正しい英文を意識して、1つのテーマについてできるだけ多く長い英文を書けるように、クラスメイトと協力しながら、自分で楽しみながら学習する」が自分の中でどれくらい意味があったかを考えてみてください。

さらに、前期に書いた英作文、最初の作品「自分を表現する」から、「4 コマ・ストーリー」、「翻訳絵本」、「(ポスター発表の)英作文」そして最後の「まとめの英作文」までを、読み返してください。英作文は、あなたが得た「知識」と、あなたができるようになった「技術」の結晶なのです。あなたが欲しかった知識や技術は得られていますか。あるいは、得られませんでしたか。さらに、得られたものは「どのように」得られたのか、得られなかったものは「なぜ」得られなかったのかも、考えてみてください。

また、「振り返りシート」のコメントを、日付順に読み返してください。これは、あなたの前期の学習の流れを踏まえて成果を総まとめすることです。言い換えると、成果とともに自分の学びを振り返ることで、自分にとってのこの授業の意義を整理することができます。これらが「前期振り返り」となります。

そして、前期の振り返りができたとき、「後期」に何ができるようになりたいと思いましたか。この前期の振り返りは、後期の目標、ならびに、未来の自分へのメッセージとなり、次に学習をつなげる力を与えてくれるのです。

文法のページ

文法ノートや、手作りの単語帳を作って、「まとめの英作文」を書くときに役立てましょう！

この授業における学習のイメージは、オーケストラです。そして、オーケストラとして音を合わせる前に、各自、美しく曲を演奏するために、すなわち美しく、正しい英文を書くための技術として、英文法や英語のパラグラフ形式を学ぶ必要があります。このページには、英文を書きやすくするための英文法がまとめてあります。なお、余裕のある人や、もっと詳しく知りたい人は、英文法参考書『フォレスト (Forest)』の指定のページをみてみましょう。そして、勉強した内容を、テキストの「文法ノート」のページにまとめて、書いておきましょう。

また、オーケストラが曲のレパートリーを増やすためには、すなわち、いろいろな話題について多く、長い英文を書けるようになるためには、語彙力が必要です。使いたい英単語や知らない表現は、必ず書き留めておいて、オリジナルな単語帳を作り、一つずつ覚えていきましょう。

PBL1

L2~3 Mind Map

【自分を表現する】

学習日 月 日
月 日



★判定 1 回目 (2点) Writing 1

英文の作り方 (Forest 10~45)

人称代名詞 (Forest 499)

文法 1 : 英文の作り方 (説明の中で、間違っただ文には*がついています)

◆◆◆「中間表現」を使いましょう。

◆次のような、間違っただ英文を書いていませんか？ (フォレストの 10~45 ページをみてみましょう。)

- (1) *Green likes. 緑色が好きです。
(2) *Review-sheet wrote. 振り返りシートは書きました。

これらの (1) (2) は、ぱっと見ると、日本語がそのまま英語になっていて、正しいように思えるかもしれませんが、間違いです。よくみてみましょう。(1)には主語がありません。いったい「誰が」緑色を好きなのでしょうか。(2)にも、主語がありません。こちらも、いったい「誰が」振り返りシートを書いたのでしょうか。

もし、英語に訳すときに、日本語には無い主語をきちんと探して訳していたら、正しい英語になっていました。そこで、日本語には必要ないけれど、英語にするときには必要な要素を入れ込んだ「中間表現」を考えてみましょう。中間表現とは、日本語で、英語の文を 100% 表したものです。

自然な日本語

中間表現

自然な英語

もし、中間表現を通していたら、(1)や(2)も、主語の「誰が」の入った正しい英文になっていましたね。

緑色が好きです

私は、好きです、緑色が
ダレガ、ドウスル、ナニヲ

I like green.

自然な日本語

中間表現

自然な英語

日本語での中間表現では、省略されている要素を補充して、英語に転換しやすくします。

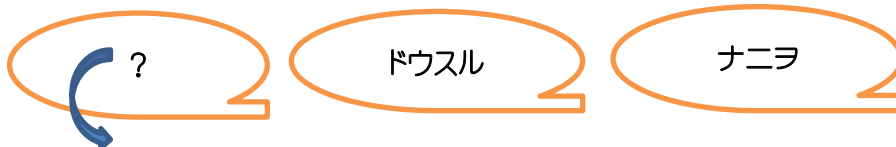
中間表現

1	ダレガ ドウスル ダレヲ (ナニガ) (ナニヲ)	SV, SVO, SVOO, SVOC	一般動詞文
2	ダレガ ダ ドンナ (ナニガ)	SVC	コピュラ文
3	アルーナニガ ドコニ (イルーダレガ)	There 構文	存在文

この3つの中で、数が多いのは、圧倒的に 中間表現1 ダレガ—ドウスル—ダレ(ナニ)ヲ です。次の(1)から(6)で、いろんな例をみていきましょう。

① ダレガ—ドウスル—ナニヲ (以下の文で、中間表現で変化する語には下線)

(2) * Review-sheet wrote. 振り返りシートは書きました。



主語は? 「ダレガ?」

自然な日本語を、そのまま英語にすると、主語の「ダレガ」がありません。

そこで、中間表現1に転換します。

中間表現: わたしが—書きました—振り返りシートを ⇒

I wrote a review sheet.

(3)? A hamburger was eaten. ハンバーガー食べた ➡「ダレガ?」⇒ わたしが
中間表現1 に轉換します。

ダレガ(主語)	ドウスル	ナニヲ(名詞)
<u>わたしが</u>	食べた	ハンバーガーを
I	ate	a hamburger.

自然な英語は I ate a hamburger. となります。

(4) *Homework finish. 宿題終わった ➡「ダレガ?」⇒わたしが I finished my homework.
中間表現1 に轉換して、**自然な英語**を考えます。

ダレガ(主語)	ドウスル	ナニヲ(名詞)
<u>わたしが</u>	終わりました	宿題を
I	finished	my homework



知識 「～は」は、主語を指していないことも、多いのです。

自然な日本語の「今日は、マインドマップを描いた」の「今日は」は主語ではありません。

*Today was made a mind map.

ついうっかり書いてしまう、この英文も、間違いです。主語は「ダレガ?」の答です。

中間表現[私は、描きました、マインドマップを] ➡ **自然な英語** | drew a Mind Map today.

(5) *Sushi is very like salmon. お寿司は鮭がとても好きです ➡「ダレガ?」⇒ I like salmon sushi.
中間表現1 [ダレガ ドウスル ナニヲ]に轉換します。

ポイント 場所や時間と同じように、[副詞成分]の とてもは後ろに続く

ダレガ(主語)	ドウスル	ナニヲ(名詞)	副詞成分
<u>わたしが</u>	好きです	<u>鮭のお寿司が</u>	とても
I	like	salmon sushi	very much

(6) *A fashion magazine is reading non-no. 雑誌は、ノンノを読んでいます。 ➡「ダレガ?」
中間表現1 [ダレガ ドウスル ナニヲ]に轉換します。

ポイント 進行形(is reading)は、今この瞬間に読書が進行中という意味です。

ゆえに、習慣として読んでいるという意味では、現在形(read)を用います。⇒ I read non-no.

ダレガ(主語)	ドウスル	ナニヲ(名詞)
<u>わたしが</u>	読んでいます	<u>雑誌のノンノを</u>
I	read	a fashion magazine "non-no".

◆主語に it がくる → 翻訳サイトの場合

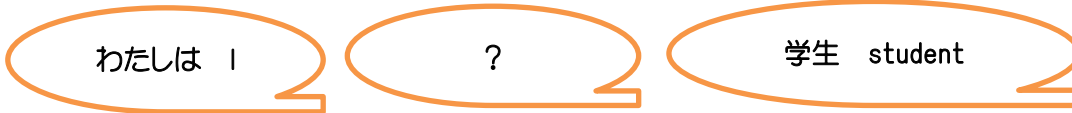
翻訳サイトが正しいと思っていませんか？ 翻訳サイトを信じてはいけません。なぜなら、翻訳サイトは主語を自動的に補ってくれないからです。→日本語に主語がないと、英語文の主語に it をたてることが多いのですが、その it は「意味不明な it」です。→間違った文になります。

「奈良に行きました」⇒ 翻訳サイトに入力 ⇒ *It went to Nara. と出てくることが多いですが、これは間違いです。皆さんは、間違わないように、中間表現を入れて、考えましょう。

「奈良に行きました」→「ダレガ？」⇒「わたしは～」⇒ I went to Nara. (*^.*^*)正解！

②[ダレガ ダ ドンナ] の中間表現を通すとき (中間表現で変化している語には下線)

(7) *I student. わたし学生。 ⇒ 動詞は？



中間表現 2 わたしは、 だ、 学生 ⇒ 自然な英語 I am a university student.

(8) *I university life is enjoy. 私の大学生生活は楽しい。 ドンナ には動詞 enjoy はこない。

中間表現2に轉換します。

ナニガ(主語)	ダ・デス	ドンナ(形容詞、名詞、前置詞句)
わたしの大学生生活は	です	楽しい
My university life	is	fun.

あるいは、中間表現 1 [ダレガ ドウスル ナニヲ] に轉換 ⇒ 自然な英語 I enjoy my university life.

(9) *Her hobby is swim. 彼女は趣味で泳ぐ。 ドンナ には動詞 swim はこない。

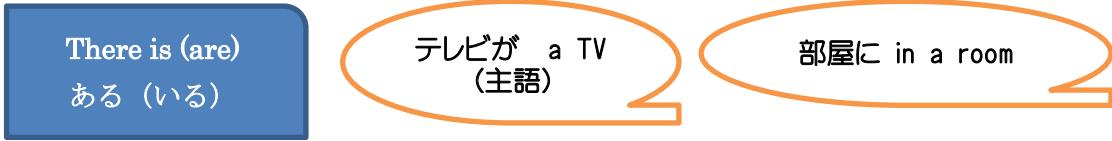
中間表現2に轉換します。

ナニガ (主語)	ダ デス	ドンナ (形容詞、名詞、前置詞句)
彼女の趣味は	だ	泳ぐこと
Her hobby	is	swimming
Her favorite summer hobby		to swim

あるいは、中間表現 1 [ダレガ ドウスル ナニヲ] に変更 ⇒ 自然な英語 She loves to go swimming.

③[アル ナニガ ドコニ] (中間表現で変化している語には下線)

(10) *I am TV in room. わたしは部屋にテレビがあります。→主語は「わたし」ではありません。
 中間表現 3 に轉換します。



中間表現 3: あります テレビが わたしの部屋に ⇒ 自然な英語 There is a TV in my room.

あるいは、中間表現 1 [ダレガ ドウスル ナニヲ] ⇒ 自然な英語 I have a television set in my room.
 My room has a television.

(11) *I am five in my family. 私は5人家族です。⇒ この「私は」も主語ではありません。
 中間表現 3 に轉換します。

アル	ナニガ (主語)	ドコニ
いる	5人	私の家族に
There are	five people, five members	in my family

◎主語は there ではなく、five ~なので ⇒ be 動詞 are に対応します。

あるいは、中間表現 2 [ナニガ ダ ドンナ] ⇒ 自然な英語 We are a family of five.
 My family is five.

文法 1 : 人称代名詞 (説明の中で、間違っただ文には*がついています)

◆◆◆「わたしの」という意味では、my を使しましょう。

◆次のような、間違っただ英文を書いていませんか? (フォレストの 499 ページをみてください。)

(12) *Her from is Kyoto. 彼女は京都出身です。

(13) *I university life is enjoy. 私の大学生活は楽しいです。

人称代名詞は主語として用いられるか、「～の」という所有を表して用いられるかによって変化します。

①主語として用いられる場合

主語	単数 (1人/1つ)	複数 (2人以上/2つ以上)
1人称 (自分)	わたしが/は I	わたしたちが/は we
2人称 (相手)	あなたが/は you	あなたたちが/は you
3人称 (第三者、物)	彼が/は he	彼らが/は they
	彼女が/は she	それらが/は they
	それが/は it	

◎3人称の he(彼)/she(彼女)は、「恋人」という意味ではありません。

(12) *Her from is Kyoto. 彼女は京都出身です。 ➡ 主語は「彼女は」なので She

She is from Kyoto.

ナニガ(主語)	ダ・デス	ドンナ(形容詞、名詞、前置詞句)
彼女は	です	京都出身
She	is	from Kyoto.

②所有を表す表現として用いられる場合

所有を表す「～の」という意味で、名詞の前に使われる場合には次の所有格の形が用いられます。

所有格	単数 (1人/1つ)	複数 (2人以上/2つ以上)
1人称 (自分)	わたしの my	わたしたちの our
2人称 (相手)	あなたの your	あなたの your
3人称 (第三者、物)	彼の his	かれらの their
	彼女の her	それらの their
	その its	

(13) *I university life is enjoy. 私の大学生活は楽しいです。 ➡ 「私の」は所有を表す

My university life is fun.

ナニガ(主語)	ダ・デス	ドンナ
私の大学生活は	です	たのしい
My university life	is	fun.

(14) *She favorite food is chicken-nabe. 彼女の好物は鳥鍋です。 ➡ 「彼女の」は所有を表す

Her favorite food is chicken-nabe.

ナニガ(主語)	ダ・デス	ドンナ
彼女の好物は	です	鶏なべ
Her favorite food	is	chicken-nabe.

②目的語として用いられる場合

目的となる対象を表す「～を/に」という意味で用いられるのは、次の目的格です。

目的語	単数 (1人/1つ)	複数 (2人以上/2つ以上)
1人称 (自分)	わたしを/に me	私たちを/に us
2人称 (相手)	あなたを/に you	あなたたちを/に you
3人称 (第三者、物)	彼を/に him	彼らを/に them
	彼女を/に her	それらを/に them
	それを/に it	

◎2人称の「あなたを」と「あなたたちを」は、主語とも同じ形の you を使います。

(15) * She met he in Shijyo. 彼女は四条で彼に会った → 「彼に」は主語ではなく目的語

She met him in Shijyo.

ダレガ(主語)	ドウスル	ダレニ(名詞)	副詞成分
彼女は	会った	彼に	四条で
She	met	him	in Shijo.

(16) * I talked to she telephone. 彼女と電話で話した → 「彼女と」は主語ではない

I talked to her over the phone.

ダレガ(主語)	ドウスル	ダレニ(名詞)	副詞成分
<u>わたしは</u>	話した	彼女と	電話で
I	talked	to her	on the telephone
	spoke	with her	over the phone

◆覚え方: リズミカルに、左から横に、 I my me と、音読しながら書いて、暗記しましょう。

人称代名詞	主格 (は)	所有格 (の)	目的格 (を)
1 人称 (自分)	I	my	me
複数	we	our	us
2 人称 (相手)	you	your	you
複数も同じ	you	your	you
3 人称 (第三者、物)	he	his	him
	she	her	her
	it	its	it
複数	they	their	them

PBL1

L2~3 Mind Map
 [自分を表現する]
 学習日 月 日
 月 日



★判定 1 回目 (2 点) Writing1
 基本的な文の形 (Forest 32~54)

ここでは、平叙文 (肯定文と否定文) しか扱いません。ほかにも、疑問文、命令文、感嘆文がありますので、余裕のある人は、フォレストの 32 ページから 54 ページをみて、勉強しましょう。

文法 2：基本的な文の形（説明の中で、間違っただ文には*がついています）

◆◆◆ 否定の not(～ない)は、普通の動詞なら前に、be 動詞なら後に、おきましょう。

◆次のような、間違っただ英文を書いていませんか？（フォレストの 32～54 ページをみてください。）

(1)から(3)は、ぱっと見ると、正しいように思えるかもしれませんが、間違っただいます。

- (1) *I am study English. わたしは英語を勉強しています。
- (2) *I like English not. わたしは英語が好きではない。
- (3) *My friend very gentle. 友達は、とても優しいです。

では、基本から復習していきましょう。

《基本的な文の形》 基本的な文の形である平叙文には、肯定文と否定文があります。どちらも、よく使われますので、ここで、マスターしましょう。

◆文法1でやった、3種類の間接表現の語順で、それぞれ例をみてください。

①平叙文 [ダレガ ドウスル ダレヲ]

- 1. 肯定文 You work part-time. (あなたはバイトをしている)
- 2. 否定文 You don't work part-time.(あなたはバイトをしていない)

	ダレガ	ない	ドウスル	ダレヲ	副詞成分
肯定文	You	—	work	—	part-time.
否定文	You	don't	work	—	part-time.

日本語では、「バイトをしていない」、のように否定を表す「ない」は文の最後に来ますが、英語の場合、「ない」に対応する not は、主語や時制に合わせ、do+not や does+not などの形で、動詞の前にきます。

主語	過去	現在	未来
1～2人称 I, we, you	didn't (did not)	don't (do not)	won't(will not)
3人称単数 he, she, it	didn't (did not)	doesn't(does not)	won't(will not)
3人称複数 they		don't (do not)	

—普通動詞を否定する形—

平叙文 [ダレガ ダ ドンナ]

- 1. 肯定文 You are a student. (あなたは学生です)
- 2. 否定文 You aren't a student.(学生ではありません)

	ダレガ	ダ	ない	ドンナ	副詞成分
肯定文	You	are	—	a student	—
否定文	You	are	not	a student	—

次に、他の be 動詞の場合、否定の表現は、全て be 動詞+not という形になり、主語と時制によって、下の表に示したように変化します。

主語	過去	現在	未来
1人称単数 I 複数 we	wasn't (was not) weren't (were not)	I'm not aren't (are not)	won't be (will not be)
2人称単数 you 複数 you	weren't (were not)	aren't (are not)	won't be (will not be)
3人称単数 he, she, it 複数 they	wasn't (was not) weren't (were not)	isn't(is not) aren't (are not)	won't be (will not be)

— be 動詞の否定形 —

平叙文 【アルーナニガ ドコニ】

- 肯定文 There is a bus stop in front of the entrance. (入口の正面にバス停がある)
- 否定文 There isn't a bus stop in front of the entrance. (入り口の正面にバス停はない)
There is no bus stop around here. (このあたりには、バス停はない)

	アル		ない	ナニガ	ドコニ
肯定文	There	is	—	a bus stop	in front of the entrance.
否定文	There	is	not no	a bus stop bus stop	in front of the entrance. around here.

◎否定の not を be 動詞の直後におく代わりに、主語の前に no を置いて否定することも可能。

◆では、例文をみていきましょう。

(1) *I am study English. わたしは英語を勉強しています。 ➡ ドウスル は 普通の動詞だけ

⇒ I study English.

	ダレガ	ない	ドウスル	ナニヲ	副詞成分
肯定文	I	—	<u>study</u>	English	—

普通動詞だけでよいのに、なんとなく習慣で be 動詞も一緒におくという間違いがよくあります。be 動詞がなくても、普通の動詞である study だけで、「勉強しています」という意味になりますよ。

(2) *I like English not. わたしは英語が好きではない。 ➡ 「ない」の not は動詞の前におく

⇒ I don't like English.

	ダレガ	ない	ドウスル	ナニヲ	副詞成分
否定文	I	<u>don't</u>	like	English	—

最初に説明したように、日本語文では、「ない」は文の最後に来ますが、英語の場合、not は、do+not や

does+not などの形で、動詞の前にきます。

(3) *My friend very gentle. 友達はとても優しいです。→ 英文に必要な「動詞」がありませんね。
⇒ My friend is very gentle.

	ダレガ	ダ	ない	ドンナ
肯定文	My friend	<u>is</u>	—	very gentle

意外とよくある間違いに、(3) *My friend very gentle. のように、動詞の無い英文を書いてしまう事があります。注意しましょう。

PBL2

L4~5 4-frame Story
[4コマストーリーを書く]
学習日 月 日
月 日



★判定2回目(2点) Writing 2
時制と進行形 (Forest 56~80)

ここでは、過去・現在・未来の表現として、現在形、過去形、未来を表す表現と、それぞれの進行形しか扱いません。ほかにも、完了形がありますので、余裕のある人は、フォレストの 82 ページから 103 ページをみて、勉強しましょう。

文法3：過去・現在・未来の表現（説明の中で、間違った文には*がついています）

◆◆◆いつのことなのかを、動詞の形で、表現しましょう。

◆次のような、間違った英文を書いていませんか？（フォレストの 56~80 ページをみてみましょう。）

- (1) *I go there yesterday. わたしは昨日、そこに行った。
- (2) *She have two older sisters. 彼女は、お姉さんが 2 人います。
- (3) *My club experience will my lifelong memory. クラブの経験は、一生の思い出になる。

正解は、

- (1)は、「昨日~した」という表現から、動詞を過去形に — (1) I went there yesterday.
- (2)は、主語が 3 人称単数で、時制が現在なので — (2) She has two older sisters.
- (3)は、未来の will の直後に動詞 be が必要 — (3) My club experience will be my lifelong memory.

《時制》 英語は、その出来事が起こった時間がいつなのかを、「時制」(動詞の形)で表します。「今、現在どうしている」をあらわす形の現在時制、「過去にはどうしていた」は過去時制、そして未来にどうするのかを予想する表現を扱います。それぞれ、肯定文と否定文をみていきましょう。

(1)「今、現在どうしている」を表す形 ⇒現在時制

- 1. 現在形 今の状態や習慣を示します。
I study English. (英語を勉強しています)

I **don't study** English. ...否定文は、動詞の前に、**don't (do not)**

She **studies** English. (英語を勉強しています)

She **doesn't study** English. ...否定文は、**doesn't (does not)**

2. 現在進行形 I **am studying** English now. (今、英語を勉強しているところです)
現在進行形は、今の瞬間に進行中である一時的な状態を表します。

(2) 「過去には、どうしていた」を表す形 ⇒過去時制

3. 過去形 今とは無関係の、過去に終わった出来事を示します

I **studied** English. (英語を勉強していました)

I **didn't study** English. ...否定文は、動詞の前に、**didn't (did not)**

4. 過去進行形 ある過去の瞬間に進行中だった、一時的な状態を表します。

I **was studying** English at this time yesterday.

(昨日の今頃、英語を勉強していました)

(3) 「未来に、どうしている」を予想して表す形 ⇒未来を表す表現

5. [will + 動詞の原形]

①意志未来 その場でする気になった、したい気持ちがあることを表します。

I **will study** English. (英語を勉強します/するつもりです)

I **won't study** English. ...否定文は、動詞の前に **won't (will not)**をおきます。

②単純未来 自然にそうなることを表します。

It **will be** rainy tomorrow. (明日は雨がふるでしょう)

It **won't be** rainy tomorrow. ...否定文は、動詞の前に **won't (will not)**をおきます

6. [be going to + 動詞の原形] 前からするつもりでいた、予定として決まっている
未来の予定 I'm **going to** study abroad next year. (来年、留学する予定です)

7. 未来進行形 未来のある瞬間に進行中であろうことを表します。

I **will be studying** English at this time tomorrow.

(明日の今頃、英語を勉強しているでしょう)

▼では、詳しくみていきましょう。

重要なのは、動詞の形です。過去、現在、未来のいつの出来事なのかは、動詞の形で表します。

ちなみに、**中間表現**では、①[ドウスル]、②[ダ]、③[アル]の部分の**動詞**が、時制を表します。

①[ダレガ **ドウスル** ナニヲ] ②[ダレガ **ダ** ドンナ] ③[**アル** ナニガ ドコニ]

現在時制

◆最初に、どんな形で表すのかを復習しましょう！(フォレスト 611~2 ページ)

主語の性質(単・複数、人称の違い)によって、動詞の形が決まります。主語が 1~2 人称の場合、そして、

3人称複数場合は[原形]です。主語が3人称単数の場合だけ、動詞に[~s/es] がつきます。

	単数	複数
1人称	I talk	we talk
2人称	you talk	you talk
3人称	he talks she talks it* talks	they talk

◎動物、赤ちゃんなど、性別がどちらかわからないときは he/she ではなく it で指します。

また、be 動詞は、現在形では、主語の人称や、単数・複数の違いに対応して、次の様に変化します。

◎be 動詞 (am, are, is) (否定の形は、文法2をみましょう)

	単数	複数
1人称	I am (I'm)	we are (we're)
2人称	you are (you're)	you are (you're)
3人称	he is (he's) she is (she's) it is (it's)	they are (they're)

◎一般動詞 動詞の原形に-s/-es をつけます。have (has)、do (does) は不規則変化をします。

単純現在形を作るときの綴りのルール	例
1. ふつうは動詞の語尾に-s	talk - talks pray - prays
2. 語末の[子音+y]は y を i に変えて-es	study - studies
3. 語末の s, z ,ch, sh, x は-es	wash - washes

◆次に、意味を復習しましょう！(フォレスト 61~66 ページ)

[1]現在形の表す意味

(1)現在の状態(性質)

日本には歌手がたくさんいます。

There are many singers in Japan.

わたしはゆずが大好きです。

I like Yuzu very much.

(2)現在の習慣(反復する出来事=習慣)

彼女は、地下鉄で通学しています。

She goes to school by subway.

(3)一般的な事実や真理

テニスは楽しいスポーツだ。

Tennis is an enjoyable sport for everyone.

(4)近未来(確定している未来)

彼は、今夜、東京へ発ちます。

Machiko leaves for Tokyo tonight.

[2]現在進行形(am [are/is] + ~ing 形) ... 今、進行中の動作や状態(~している)を表す

今、お昼ご飯を食べています。

We are having lunch now.

過去時制

◆最初に、どんな形で表すのかを復習しましょう！（フォレスト 613～615 ページ）

be 動詞は、主語が単数か複数かで過去形が変わります。一般動詞には規則動詞と不規則動詞があり、規則動詞の過去形は動詞に[～ed]がつき、不規則動詞は、不規則に変化するので、個別に覚えます。

また、be 動詞は、過去形でも、主語の単数・複数の違いに対応して、次の様に変化します。

◎be 動詞 (am, are, is) （否定の形は、文法2をみましょう）

過去形	単数	複数
1 人称	I was	we were
2 人称	you were	you were
3 人称	he was she was it was	they were

◎一般動詞

〔規則動詞〕 規則動詞の変化のルールは次の通りです。

過去形を作るときの綴りのルール	例
1. ふつうは動詞の語尾に ed をつける	work - worked play - played
2. 子音+y で終わる動詞は y を i に変えて ed をつける	worry - worried
3. 語尾が子音文字 1 字で終わり、直前に強勢（アクセント）が置かれる場合、語尾の文字をもう一つ重ねて ed をつける	stop - stopped knit - knitted
4. さまざまな不規則動詞	do - did have - had 原形と過去形が同じ cut - cut let - let

◆次に、意味を復習しましょう！（フォレスト 67～69 ページ）

[3]過去形

(1)過去の状態（--今はやめた）

野球チームに入っていた。

I belonged to the baseball team.

クラリネットのパートリーダーをしていた。 I was a clarinet section leader.

(2)過去の習慣（反復する出来事=習慣）（--今は、していない）

クラリネットを毎日練習していた。

I played the clarinet every day.

(3)過去の出来事（1回きりの行為）（過去に1度あった）

先週、彼女は、ライブに行った。

She went to a live concert last week.

◆過去に進行中の出来事や状態は **[過去進行形]** で表現します。

[4] 過去進行形 (past progressive): ある過去の時点で、進行中の動作や状態(～していた)を表す

昨日は、一日中、寝ていました。 Yesterday I was sleeping all day.
心配していましたよ。 I was worrying about you.

▼未来は、まだ現実には実現しておらず、心の中に存在する状況です。助動詞を使って表現します。

未来を表す表現 「未来」とは、まだ起こっていない事態の予想を表します。

[5] will で未来を表す (will + 動詞の原型)

(1) 意志未来 前から決まっていたことではなく、話す時に決めた、決まったこと

肯定文 will は「意志」(～する/～するつもりだ、～したいと思う)
勉強に全力を尽くすつもりです。 I will do my best in my study.

否定文 will not/won't は「拒絶」(どうしても～しようとしなない)
彼女はアドバイスを聞こうとしません。 She won't listen to our advice.

(2) 単純未来

肯定文 will は、「自然のなりゆきで起こる」(～でしょう)
姉は、来年 20 歳になります。 My sister will be twenty next year.

否定文 will not/won't は「自然のなりゆきで起こらない」(～ないでしょう)
明日は雨が降らないでしょう。 It won't rain tomorrow.

[6] be going to で未来を表す (be going to + 動詞の原型)

未来の予定 話す前から、すでに決めていたこと (～するつもりだ、～する)
わたしは、新しいiPhoneをかうつもりです。 I'm going to buy a new iPhone.
(お金をためて、かう準備をしている)

俺たちは、それを受け入れることはない。 We're not going to take it.
(もうすでに決めている)

◆未来に進行中であろう出来事や、その状態は、**[未来進行形]** で表現します。

[7] 未来進行形 (will be + ~ing 形) …未来の時点で、進行中の動作や状態(～しているでしょう)を表す

僕はきみを見つめているよ。 I will be watching you. (The Police, *Every Breath You Take*)

あなたはパーティに行って踊っているでしょう。 You will be partying and dancing.

(D-Block & S-te-Fan, *U Will Be Dancing*)

PBL3

L6~8 Parallel Translation
 [翻訳絵本]
 学習日 月 日, 日,
 月 日



★判定3回目(2点) Writing 3
 前置詞 (Forest 564~588)
 完了形 (Forest 81~108)



文法 4：時や場所を表す表現 (説明の中で、間違った文には*がついています)

◆◆◆すでに勉強した、存在文の There 構文も、最後に復習します。

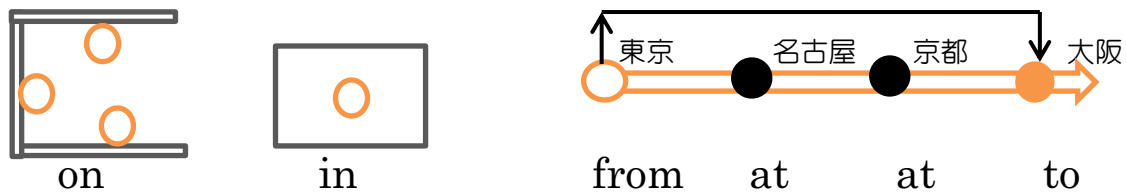
◆次のような、間違った英文を書いていませんか？ (フォレストの 564~588 ページをみてください。)

- (1) *I live on Kyoto city. 京都市に住んでいます
- (2) *I got off in JR Kyoto Station. JR 京都駅で電車を降りました。

ちなみに、(1)は、live(住む)のは、京都市の「内部」であるから in —— (1) I live in Kyoto city.
 (2)は、下車した京都駅は JR の路線地図の「一点」であるから at —— (2) I got off at JR Kyoto Station.

◆◆場所や時を表す前置詞 「いつ、どこで、〇〇があった」という場合、前置詞表現が便利です。

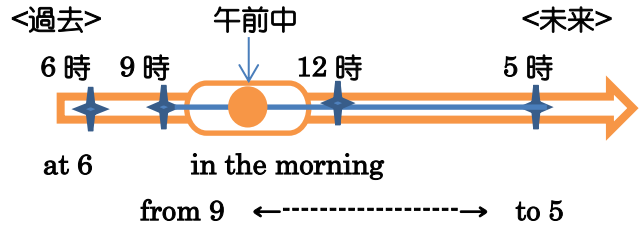
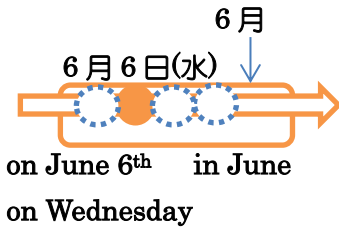
A 場所を表す前置詞(prepositions of place):場所すなわち空間関係を表現するには、[前置詞+場所を表す名詞]を使います。場所(空間)の性質によって使用する前置詞が違いますので、正しい前置詞を選ぶ必要があります。以下のチャートを見て覚えましょう。



on	接触(「上に」とは限らないが、平面と接している) There is a poster on the wall. ポスターが壁に(接して)貼ってある。(壁は平面)
in	内部(囲まれた空間の内部にある) in Kyoto (京都に) 30 students are in the classroom. 教室(の内部)に生徒が 30 人いる。(教室は囲まれた空間)
at	一点(地図の中の点のような場所として考えられている) You should arrive at school by 8:30. 8時半までに学校(という目標点)に着くべきだ (学校は、移動の目標。すなわち点的な場所として捉えられている)
from	出発点 (from はスタート地点。移動の出発点をさす)
to	到着点 (to はゴール地点。移動の到着点をさす) I will travel from Kyusyu to Hokkaido this summer. この夏、私は、九州(というスタート地点)から北海道(というゴール地点)まで旅行する。

※これらの前置詞は、場所だけではなく時も表します。

B 時を表す前置詞(prepositions of time):



on	<p>時に接触(カレンダーに接触するイメージ。日にち、曜日に用いる)</p> <p>Let's meet at Osaka station on next Sunday. 次の日曜日に、大阪駅で会おう。</p> <p>+ 曜日 on Monday (月曜日に) + 曜日 + 1日の部分 on Monday night (月曜日の夜に)</p> <p>+ 日付 on April 1st (4月1日に) + 特定の日 on Christmas day (クリスマスの日に)</p>
in	<p>時の内部(幅のある時間の中のイメージ。年、月、午前、午後などに用いる)</p> <p>In my life I love you more. 人生の中で、あなたをもっと愛するよ (The Beatles, In My Life)</p> <p>+ 月 in June (6月に) + 1日の部分(幅のある時間) in the morning (午前中に)</p>
at	<p>時の一点(瞬間的な時間のイメージ、時刻などに用いる)</p> <p>I was born at 5 p.m. on April 10th. 私は4月10日午後5時に生まれた。</p> <p>+ 時刻 at 9:10 (9時10分に) + 特定の時間 at noon (正午に)</p> <p>例外:寝ていると一瞬で時がすぎるので、「夜」も瞬間と捉える事がある。 at night (夜に)</p>
from	<p>出発点 (fromは期間の始まりを示す)</p> <p>+ 特定の時間から from 8:30 (8:30から) + 特定の日から from Monday (月曜日から)</p>
to	<p>到着点 (toは期間の終わりを示す)</p> <p>The supermarket is open from 9:00 a.m. to 9:50 p.m.</p> <p>そのスーパーは朝9時から夜9時50分まで開いています。</p> <p>+ 特定の時間まで to 9:30 (9:30まで) + 特定の日まで to Wednesday (水曜日まで)</p>

◆◆ 「ある場所に、○○がある」といいたい場合、「存在文」を使います。

文法1で学習した、3種類の間接表現のうち、存在文は3つめの形ですが、2つめの形でも表現できます。

1	ダレガ ドウスル ダレヲ (ナニガ) (ナニヲ)	SV, SVO, SV00, SVOC	一般動詞文
2	ダレガ ダ ドンナ (ナニガ)	SVC	コピュラ文
3	アルーナニガ ドコニ (イルーダレガ)	There 構文	存在文

(1) 主語が、具体的で、固有の場合(固有名詞)は、それを主語に出して、2つめの形で表現できます。

[ナニガ ダ ドンナ] + [副詞成分]

[副詞成分(文法1)]の一般的なものは、場所表現です。場所を表す前置詞を使って表現しましょう。

Takashima-ya is in Shijyo-Kawaramachi. 四条河原町には、高島屋があります。

	ナニガ	アル	ない	ドンナ	副詞成分
肯定文	Takashimaya	is	—	—	in Shijyo-Kawaramachi

The Kyoto Notre Dame University is in Sakyo-ku. 京都ノートルダム女子大学は、左京区です。

	ナニガ	アル	ない	ドンナ	副詞成分
肯定文	The Kyoto Notre Dame University	is	—	—	in Sakyo-ku

(2)また、中間表現3のThere構文を使います。

■THERE構文 [イラストレガ ドコニ]

There are many people in Shijyo-Kawaramachi. 四条河原町には、人がたくさんいます。

	アル		ない	ナニガ	ドコニ
肯定文	There	are	—	many people	in Shijyo-Kawaramachi.

There構文の主語は、[There + be動詞]の右側にある名詞です。ここにくる名詞が単数か、複数かによって、選ばれるbe動詞の形が変わります。上の例文では、主語がmany peopleですので、be動詞はareになっています。そして、固有名詞(大学名、地名、人の名前など)は、There構文の主語には、なれません。

■練習問題③■ 次の文に、適切な語を入れましょう。

(1) There () a big window in the classroom.


(2) There () a lot of windows in the classroom.

(3) () is one computer in my room.

(4) () are lots of computers in the library.

(5) There () many people in Kyoto yesterday.

■出来あがったら、答えが全て合っているかどうか、見てみましょう。間違っていたら、どうして間違っただのか、もう一度説明を見直して、重要だと思う箇所に下線をひくなどしましょう。

 解答 is, are, There, There, are

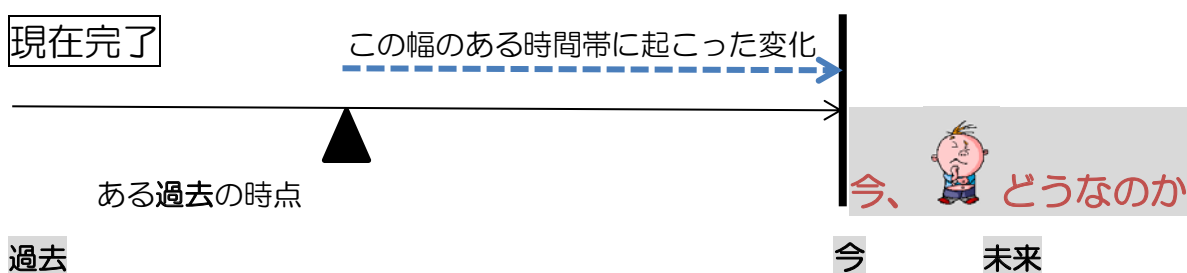
文法5 完了形（現在完了・過去完了・未来完了）

基本的に、文の形は次の2つのパターンです。

1	ダレガ（ナニガ）	ドウスル	ダレヲ（ナニヲ）	ドコ・イツ（副詞成分）
	主語 S	動詞 V	目的語 O	

2	ダレガ（ナニガ）	ダ	ドンナ	ドコ・イツ（副詞成分）
	主語 S	動詞 V	補語 C	

この[ドウスル・ダ]の部分にくる動詞が、**文法2**で、現在形（現在の状態・反復動作）だったり、過去形（過去の状態・反復動作）だったり、未来表現（未来の予定・希望）だったりする事を学びました。次に、単なる現在形や過去形ではなく、2つの時間の間の変化も含めて説明する「完了形」を学びます。現在形は、現在のことしか表しませんが、現在完了は、ある過去の時点から今（現在）にかけて何か変化して、その結果、今がどうであるかを表現します。その変化とは、例えば、何かを「してしまった」（完了）、「したことがある」（経験）、「ずっと続けている」という3種類の変化で、その結果、現在どうなのかが注目されます。



[現在完了の形] have (has) + 動詞の過去分詞

[意味] ①完了・結果 ~してしまった ②経験 ~したことがある ③継続 ずっと~し続けている

動詞の活用変化	原形	過去形	過去分詞	現在分詞
規則変化をする動詞	visit	visited	visited	visiting
	marry	married	married	marrying
	stop	stopped	stopped	stopping
不規則変化をする動詞	spend	spent	spent	spending
	be (is, am, are)	was were	been	being

↑ 動詞の活用変化を表す表です。「原形」とは、辞書に載っている基本形のことです。完了(現在完了、過去完了、未来完了)をつくる際に使う「過去分詞」は、この活用表の3番目の形です。

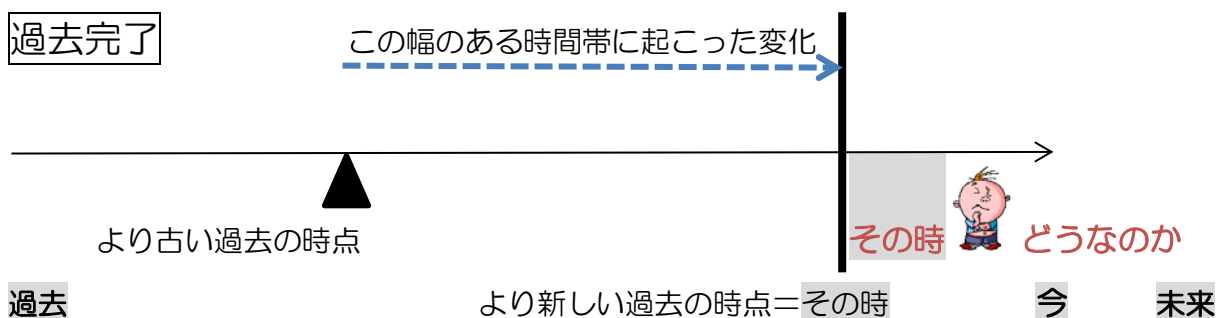
規則変化をする動詞の「過去分詞」は、動詞に ed を付けます。また、[子音 (aiueo 以外) + y] で終わる動詞(例えば marry ↑)は、y を i に代えて ed を付けます。[母音(aiueo)1文字 + 子音1文字]

字]で終わる動詞(例えば stop ↑)は、最後の子音 p を重ねて ed を付けます。これらの規則を覚えて、過去分詞を作ることができます。一方、不規則変化の場合は、1つ1つ個別に覚えていきましょう。わからない時は辞書で調べましょう。動というマークの右 () 内に、過去形、過去分詞と並んでいます。

I spent my money. お金を使った。(過去の出来事。今とは無関係。)
完了⇒I have spent my money. お金を使ってしまった。(その結果、今、お金がない)

I visited Nara. 奈良に行った。(今とは無関係。)
経験⇒I have visited Nara twice. 奈良に2度行ったことがある。(奈良を知っている)

I am married. 結婚している(現在の状態)
継続⇒I have been married for ten years. 結婚して10年になる。
(結婚生活が、今まで10年間続いている)



[過去完了の形] had + 動詞の過去分詞

[意味] ①完了・結果 ~してしまった ②経験 ~したことがある ③継続 ずっと~し続けている

I spent my money. お金を使った。(過去の出来事。今とは無関係。)

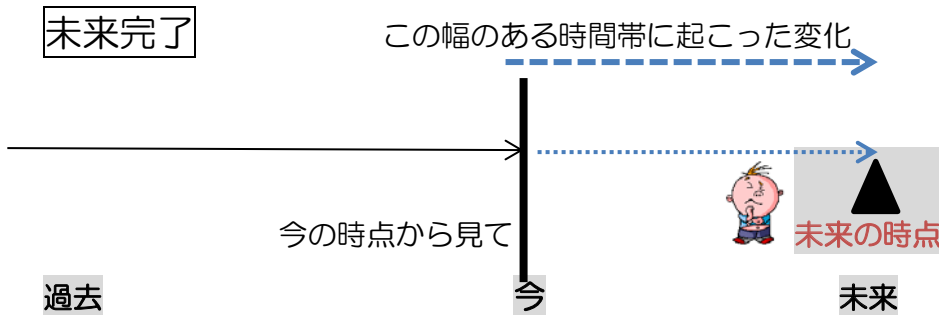
完了⇒I had spent my money. お金を使ってしまった。」
(その結果、その時に、お金がなかった)

I visited Nara. 奈良に行った。(過去の出来事。)

経験⇒I had visited Nara twice. 奈良に2度行ったことがあった。
(その結果、その時に、奈良を知っていた)

I was married. 結婚していた(過去の状態)

継続⇒I had been married for ten years. 結婚して10年になった。
(結婚生活が、その時まで10年間続いていた)



[未来完了の形] will have + 動詞の過去分詞

[意味] ①完了・結果 ~してしまうでしょう ②経験 ~したことがあるでしょう
③継続 ずっと~し続けているでしょう

I spent my money. お金を使った。(過去の出来事。今とは無関係。)

完了⇒I will have spent my money. お金を使ってしまっているでしょう。

(その結果、未来のその時点でお金がなくなっているでしょう)

I visited Nara. 奈良に行った。(過去の出来事。)

経験⇒I will have visited Nara twice. 奈良に2度行ったことがあるでしょう。

(その結果、未来のその時点で、奈良を知っているでしょう)

I was married. 結婚していた(過去の状態)

継続⇒I will have been married for ten years. 結婚して10年になっているでしょう。

(結婚生活が、未来のその時点で10年間続いているでしょう)

PBL4

L9~11 Poster Session

[ポスター発表]

学習日 月 日, 日,

月 日



★判定4回目(2点) Presentation

接続詞 (Forest 590~609)

文法6: 英文のつなぎ方(説明の中で、間違った文には*がついています)

◆◆◆2つの文の意味のつながりを考えて、「接続詞」を使いましょう。

◆次のような、間違った英文を書いていませんか? (フォレストの590~609ページをみてください。)

(1) * Snow is beautiful because I like Hokkaido. 雪がきれいだから、北海道が好きです。

(2) * And, she can do housework, I can't housework. 彼女は家事ができて、私はできない。

(1)で、「雪が美しい」のは、「私が北海道が好きだ」からですか?違いますね。ここでは、理由と結果が逆になっているので、順番を変えます。正解— (1) I like Hokkaido because snow is beautiful there.

(2)で、接続詞 and はつなぎたい2つの文の間におきます。そして、コンマは接続詞の前に移動します。

正解— (2) * She can do housework, and I can't housework.

さらに、第一の文と第二の文の意味を考えてみましょう。「彼女は家事ができる」と「私はできない」と、内容が対立していますね。内容的に対立している場合は、and よりも but の方が適切です。

正解一 (2) She can do housework, but I can't.

◇英文のつなぎ方 (接続詞: and, but, so/ because, when)

英文を書くときに、短い文を、バラバラと、並べてしまっていないか。実は、英語では、あまり短い文ばかりを並べてしまうよりも、その短い文と短い文をつないで、より長い1つの文にまとめる方が、洗練されて、より読みやすい文となります。その際、役に立つのが「つなぎ言葉」、すなわち「接続詞」です。では、これから、英文を書く際のお役立ちグッズとなる「接続詞」の使い方を勉強しましょう。

◆等位接続詞 AND, BUT, SO の使い方を理解しよう! (Forest591-596)

短い文をつないで長い1つの文にまとめます。2つの文をほぼ対等に並ぶ形でつなぐのが、等位接続詞です。つながれていても、2つの文は、それぞれ独立しています。そして、その2文の「意味関係」によって、and(類似)、but(対比)、so(原因結果)と使い分けられます。等位接続詞は、2文の間におかれ、コンマは、接続詞の前につなげられます。また、and と but は、2文の順番を、入れ替えることができます。他にも、等位接続詞には、or や for などがあります。(Forest591-596)

接続詞を使うときのルール	例
AND は、2つの 類似 する考えをつなぐ	Jack loves Betty, and she loves him, too. ジャックはベティが大好きで、ベティもジャックが大好きだ
BUT は、2つの 対比 する考えをつなぐ	Jack loves Betty, but she doesn't love him. ジャックはベティが大好きなのに、ベティはそうではない
SO は、2つの考えが 原因と結果 を表す	Jack loves Betty, so he wants to marry her. ジャックはベティが大好きだから、結婚したいと思っている

◎基本的に、and, but, so は文頭にきません。また、コンマは後にはうたず、前にうちます。

■練習問題①■ 1文目と2文目の関係を考えて、適切な接続詞(and, but, so)を入れましょう。

- (1) Betty goes out with her sisters, () she goes out with her friends, too.
- (2) Jack likes to spend more time with his girlfriend, () he is usually too busy.
- (3) Betty wants to e-mail her mother, () her computer is broken.
- (4) Jack misses his family, () he calls them every day.
- (5) Betty wants to buy a new computer, () she doesn't have enough money.

■出来あがったら、答えが全て合っているかどうか、見てみましょう。間違っていたら、どうして間違っただのか、もう一度説明を見直して、重要だと思ふ箇所に下線をひくなどしましょう。



解答 and, but, but, so, but

◆従属接続詞 because, when の使い方を理解しよう！ (Forest599-609)

2つの文が、対等ではなく、1つの文に、もう1つの文が頼る形でつながる場合に使われるのが、従属接続詞です。中心となる文は「主節」、よりかかる文が「従属節」。従属節の中でも副詞節は、主節の中の動詞、あるいは主節全体を、「なぜなら～(because～)」と理由を説明する形や、「～とき(when～)」と時間を示す形で修飾しています。従属接続詞は、従属節の最初におかれます。[主節+従属節]また[従属節+主節]のどちらの順でもよいが、[従属節+主節]の場合のみ、従属節の終わり(主節の前)に、コンマをうちます。他にも従属接続詞は、while, since, before, after, until, if, unless など、いろいろあります。

接続詞を使うときのルール	例
<p>because 理由「…なので/だから」</p> <p>because 節を文頭 → 節の終わりにコンマ</p> <p>A because B. Because B, A.</p>	<p>Jack is rich because he is a banker.</p> <p>ジャックはお金持ちなのよ、銀行家だからね。</p> <p>Because Jack is a banker, he is rich.</p> <p>ジャックは銀行家なので、お金持ちなのだ。</p>
<p>when 「…する[である]時に」 「…のは、…の時だ」</p> <p>when 節を文頭 → 節の終わりにコンマ</p> <p>A when B. When B, A.</p>	<p>Betty got married when she was 31 years old.</p> <p>ベティが結婚したのは、31歳の時だった。</p> <p>When Betty was 31 years old, she got married.</p> <p>ベティは31歳のときに、結婚した。</p>

◎ because 節に理由をもってきます。

■練習問題②■ 前後の意味のつながりを考え、適切な接続詞(because, when)を入れましょう。

- (1) Betty will tell him the news () he comes.
- (2) Jack is sleepy now () he sat up late last night.
- (3) () Takashi was twenty, he left Japan for America.
- (4) Jack misses his family () he lives by himself in Kyoto now.
- (5) Betty doesn't have much money today () she went shopping yesterday.

■出来あがったら、答えが全て合っているかどうか、見てみましょう。間違っていたら、どうして間違っただのか、もう一度説明を見直して、重要だと思ふ箇所に下線をひくなどしましょう。



解答 when, because, When, because, because

パラグラフの構成 「英作文」, 「まとめの英作文」を書くときに役立てましょう!

この授業における学習のイメージは、オーケストラです。オーケストラとして美しく曲を演奏するために、すなわち美しく、まとまりのある英文を書くためには、パラグラフの構成も学ぶ必要があります。このページには、英語でパラグラフを書く際のフォーマットがまとめてあります。

L11

[英作文]

学習日 月 日

★判定5回目 Writing 4(3点)

構成1: タイトルをつける

構成2: パラグラフの形式

構成1: 題名(タイトル)をつける

「英作文」, 「まとめの英作文」に、内容に合った題名(タイトル)をつけましょう。

題名(タイトル)の書き方

1. 英単語は、全て、最初の1文字を大文字にします。
ただし、冠詞(a/an, the)と前置詞(at, on, to など)は、基本的に小文字のままです。
2. ピリオドや、コーテーション・マーク(“ ”)は不要です。(タイトルは文ではありません)
ただし、疑問符(?), 感嘆符(!)を使うことはあります。
3. 題名(タイトル)は、ページの中央に、書きます。

■みてみよう①■ 次の題名(タイトル)は全て間違っています。正しく書き直してみよう。

1) my family _____

2) "Trip To NARA" _____

3) OUR NEW HOUSE _____

4) Time is Money. _____



みてみよう①の解答: 1) My Family 2) Trip to Nara 3) Our New House 4) Time Is Money

構成 2：パラグラフの形式

英文の集まり(段落)を、「パラグラフ(paragraph)」と呼びます。パラグラフは、次の形式で書かれます。

パラグラフの形式	
1. 字下げ	パラグラフを書く際、3～5文字程度、文字を引っ込めて書き出します。 (このことを、「字下げ」または「インデント」と言います。)
2. 大文字	文は、全て大文字で始めます。
3. 句読点	文は、ピリオド(.)、疑問符(?)、感嘆符(!)のいずれかで終わります。
4. 改行の仕方	1つの文が終わるとピリオドをうち、1文字分の空間をあけてから次の文を書き始めます。(箇条書きのように書いてはいけません。)

- みてみよう②** ■ 正しく書けているパラグラフには、丸をしてあります。
字下げ、大文字、句読点、改行の仕方を、よく見ておきましょう。

~~My name is Nonogami Machiko.
I am nineteen years old.
I am from the USA
my father is American and my mother is Japanese.
of course I love English
I enjoy taking tea ceremony lessons afterschool.~~

Talking About Me

My name is Nonogami Machiko. I am nineteen years old.
I am from the USA. My father is American and my mother
is Japanese. Of course, I love English. I enjoy taking tea ceremony
lessons after school.

- チェックポイント
- ① **タイトル**はありますか？
 - ② **字下げ**していますか？
 - ③ **大文字**で文を始めていますか？
 - ④ **句読点**が正しく使われていますか？
 - ⑤ **改行の仕方**が正しく、箇条書きにはなっていませんか？

L13～14

[まどめの英作文]

学習日 月 日
月 日

★判定 5 回目 (自己査定 15 点)
(最低 100 words 以上)

構成 1：タイトルをつける

構成 2：パラグラフの形式

構成 3：パラグラフの構成要素

構成 3：パラグラフの構造

1つのパラグラフは、必ず1つのテーマで書かれています。その1つのテーマを、そのパラグラフの主題またはトピック(topic)といいます。そのトピックを効果的に表現するために、パラグラフは、次の3つの要素を含んでいます。

パラグラフの基本的な構成要素	
1. 主題文 (topic sentence)	1文
2. 支持文 (supporting sentences)	3文以上
3. 結論文 (concluding sentence)	1文

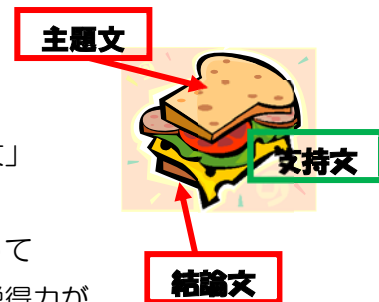
1パラグラフには、必ず、これら3要素が含まれていなければなりません。**主題文** **支持文** **結論文** は、ちょうど「サンドイッチ」のようになっています。

1. **主題文 (topic sentence)** は読む人に「**主題 (topic) : 何について書いているのか**」を知らせます。ふつうパラグラフの第1番目の文です。
2. **支持文 (supporting sentence)** は読む人に「**詳しい内容や具体例、または理由**」などを述べます。主題文に続いて書かれる複数の文です。
3. **結論文 (concluding sentence)** は、読む人に「**主題 (トピック) を異なる表現や違う切り口**」から伝えたり、「**その結論**」を伝えたりします。次のような表現を使うとわかりやすいでしょう。
(all in all (大体)、as you can see, (おわかりのように)、in conclusion (結局))

サンドイッチで考えてみましょう。

◎2つのパンは → 「主題文」「結論文」

◎チーズ・レタス・ハム・トマトなどの具材は→ 「支持文」



サンドイッチは、卵か野菜かハムか、何をはさむかによって味が全く変わりますね。パラグラフも、支持文によって説得力が変わります。そして、同じトピックでも、書く人により全く違うものになります。

■練習問題■ 次のパラグラフを読んで、次の問いに答えてみましょう。

My best friend is Miho Yamada. She is eighteen years old. She is single, but she has a boyfriend. She is very friendly and also fun to be with. We met in a kindergarten, and have kept in touch since then. I am really glad to have a friend like her.

- ①主題文を□で囲みましょう。 → 上のパン
- ②支持文はいくつありますか。() → サンドイッチの中身
- ③結論文に下線を引きましょう。 → 下のパン

■わかりましたか？ わからないところは、何度も読んでやってみて、その後で、質問しましょう。



出来あがったら、合っているかどうか、見てみましょう。

- ①主題文を口で囲みましょう： My best friend is Miho Yamada. → 上のパン
- ②支持文はいくつありますか。(5文) → サンドイッチの中身
- ③結論文に下線を引きましょう。 I am really glad to have a friend like her. → 下のパン

長めのパラグラフを書く際の注意点 http://litesee.com/toefl_article_06.htm *Litesee*より抜粋

「まとめの英作文」で語数を増やしたい場合は、どうすればよいでしょう。パラグラフは、以下のように支持文(Supporting Sentences)を増やせば、150語程度には説明を増やすことができます。

▼短いパラグラフ (79words)

My hometown is famous for several amazing natural features. First, it is noted for the Wheaton River, which is very wide and beautiful. Also, on the other side of the town is Wheaton Hill, which is unusual because it is very steep. The third amazing feature is the Big Old Tree. This tree stands two hundred feet tall and is probably about six hundred years old. These three landmarks are truly amazing and make my hometown a famous place.

▼長いパラグラフ (下線部が詳しく書かれています) (168words)

My hometown is famous for several amazing natural features. First, it is noted for the Wheaton River, which is very wide and beautiful. On either side of this river, which is 175 feet wide, are many willow trees which have long branches that can move gracefully in the wind. In autumn the leaves of these trees fall and cover the riverbanks like golden snow. Also, on the other side of the town is Wheaton Hill, which is unusual because it is very steep. Even though it is steep, climbing this hill is not dangerous, because there are some firm rocks along the sides that can be used as stairs. There are no trees around this hill, so it stands clearly against the sky and can be seen from many miles away. The third amazing feature is the Big Old Tree. This tree stands two hundred feet tall and is probably about six hundred years old. These three landmarks are truly amazing and make my hometown a famous place.

※もっと長い英作文を書きたい場合は、以下のサイトを見てみましょう。(後期に説明を予定しています)

1. Chapter 5: Moving from Paragraph to Essay (460.0K)-McGraw-Hill
http://highered.mcgraw-hill.com/sites/dl/free/0073533343/993742/LanganEW_SP_Ch05.pdf#search=%27paragraph+to+short+essay%27 (20131215)
2. Paragraph to Short Essay - Journey of an English Teacher - Home pp.17-19
<http://theenglishteacher.weebly.com/uploads/3/8/2/0/3820155/9780194309233-b.pdf#search=%27paragraph+to+short+essay%27> (20131215)
3. すぐ書ける5パラグラフ・エッセー:35553で書くという速攻法 - 英語 - アルク
http://eng.alc.co.jp/newsbiz/hinata/2006/07/post_250.html (20131215)



文法ノート確認シート

L.1	L.11
L.2	L.12
L.3	L.13
L.4	L.14
L.5	L.15
L.6	
L.7	
L.8	
L.9	
L.10	



わたしの単語帳確認シート

L.1	L.11
L.2	L.12
L.3	L.13
L.4	L.14
L.5	L.15
L.6	
L.7	
L.8	
L.9	
L.10	

伝えるためのライティング Ver.2014

2014年3月31日 初版第1刷発行

著者	東郷多津 田中美和子
発行者	東郷多津
印刷製本	有限会社 津田印刷

本書は科学研究補助金基盤研究(C)課題研究番号 23501120 研究代表者:神月紀輔(京都ノートルダム女子大学心理学部准教授)の支援を受けて印刷製本されました。ご配慮に深く感謝の意を表します。

